

第3期データヘルス計画

(令和8年度実施計画)

令和8年2月

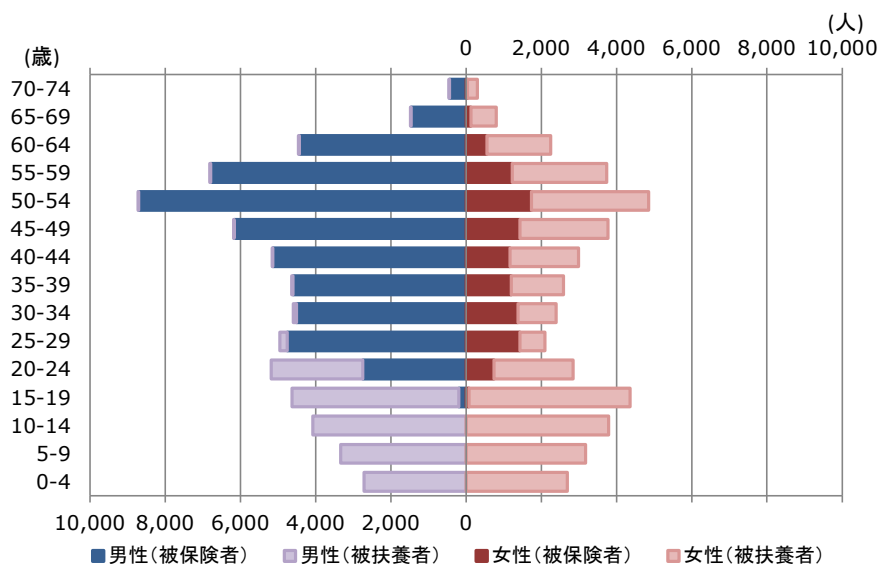
自動車振興会健康保険組合

STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	23991
組合名称	自動車振興会健康保険組合
形態	総合
被保険者数	61,070名 男性81.8% (平均年齢45.2歳) 女性18.2% (平均年齢42.1歳)
特例退職被保険者数	0名
加入者数	110,017名
適用事業所数	293
対象となる拠点数	2,776カ所
保険料率 (調整を含む)	91.0%

		健康保険組合と事業主側の医療専門職	
		常勤 (人)	非常勤 (人)
健保組合	顧問医	0	0
	保健師等	1	2
事業主	産業医	0	0
	保健師等	0	0

		令和8年度見込	
		予算額 (千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保 健 事 業 費	特定健康診査事業費	226,316	3,706
	特定保健指導事業費	15,441	253
	保健指導宣伝費	29,571	484
	疾病予防費	740,670	12,128
	体育奨励費	12,935	212
	直営保養所費	122,304	2,003
	その他	41,171	674
	小計 …a	1,188,408	19,460
	経常支出合計 (千円) …b	36,739,863	601,602
a/b×100 (%)	3.23%		



男性（被保険者）

令和8年度見込			
0～4	0 人	5～9	0 人
10～14	0 人	15～19	199 人
20～24	2,752 人	25～29	4,760 人
30～34	4,505 人	35～39	4,599 人
40～44	5,144 人	45～49	6,170 人
50～54	8,704 人	55～59	6,788 人
60～64	4,437 人	65～69	1,459 人
70～74	438 人		

女性（被保険者）

令和8年度見込			
0～4	0 人	5～9	0 人
10～14	0 人	15～19	72 人
20～24	741 人	25～29	1,434 人
30～34	1,377 人	35～39	1,206 人
40～44	1,170 人	45～49	1,432 人
50～54	1,743 人	55～59	1,224 人
60～64	555 人	65～69	130 人
70～74	31 人		

男性（被扶養者）

令和8年度見込			
0～4	2,713 人	5～9	3,334 人
10～14	4,080 人	15～19	4,432 人
20～24	2,431 人	25～29	190 人
30～34	87 人	35～39	36 人
40～44	17 人	45～49	12 人
50～54	22 人	55～59	29 人
60～64	21 人	65～69	15 人
70～74	21 人		

女性（被扶養者）

令和8年度見込			
0～4	2,694 人	5～9	3,182 人
10～14	3,788 人	15～19	4,286 人
20～24	2,105 人	25～29	662 人
30～34	1,012 人	35～39	1,377 人
40～44	1,817 人	45～49	2,343 人
50～54	3,110 人	55～59	2,509 人
60～64	1,691 人	65～69	664 人
70～74	268 人		

人員調査結果（令和7年11月実施）

区分		都内隣接県 地区	遠隔地指定 地区	補助金健診 地区	計
定期 健康 診断	34歳以下	5,721	5,305	3,329	14,355
	35歳～39歳	2,378	1,945	1,198	5,521
	40歳～64歳	10,563	10,760	5,182	26,505
	65歳以上	929	582	256	1,767
ドック希望者		6,461	3,747	1,479	11,687
総人数		26,052	22,339	11,444	59,835 …①

本社・本部に属する被保険者		
男	女	計
11,797	3,752	15,549 …②

割合：②÷①＝26%

1. 自動車販売及び自動車部品の製造・販売等を主たる業とする事業所が加入している大規模な総合健康保険組合（加入者約11万人）である。
2. 全適用事業所のうち、母体事業所の本社・本部（21都道府県に所在）に所属する被保険者は約26%となっている。
3. 事業所の拠点は全国にあり、東京近郊（1都3県）に在勤する被保険者は約48%、それ以外の地区に在勤する被保険者は約52%であり、被扶養者も全国に点在している。
4. 被保険者は、全体の約82%を男性が占めている。
5. 被保険者の年齢構成は、40歳代後半から50歳代が多く、全体の約43%を占めている。

STEP1-2 第3期データヘルス（保健事業）の実施状況

予算科目	事業名	事業の目的および概要	対象者					令和7年度		備考 (令和6年12月末時点)
			資格	対象事業所	性別	年齢	対象者	実施状況（12月末日現在）	振り返り	
職場環境の整備										
保健指導宣伝	健康スコアリングレポート	【目的】 全事業所との情報(従業員等の健康状況及び健康課題等)の共有 【概要】 メール添付による送付や機関誌（健保ニュース）へ掲載により情報提供を実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ~ 74	加入者全員	4月に279事業所へメール送付 8月に健保ニュースへ掲載	事業所の健康状況及び健康課題等の共有を図り、事業主とのコラボヘルスを一層推進するため、厚生労働省から発行された組合全体版の健康スコアリングレポートを送付。 また、特定健診対象（40歳以上）の被保険者が50人以上の事業所へは事業所ごとの健康スコアリングレポートを送付した。	4月に279事業所へメール送付 8月に健保ニュースへ掲載
加入者への意識づけ										
保健指導宣伝	機関誌発行	【目的】 情報発信、健康意識の醸成 【概要】 健保の運営、財政収支、保健事業、健康づくり、公告等の情報提供	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	加入者全員	4、8、11月に実施 次回1月実施予定 紙媒体発行部数 約17,800部/回	計画どおり実施できている。	
	マイヘルスウェブ	【目的】 マイヘルスウェブの登録率の向上 【概要】 医療費及び後発医薬品差額のお知らせや健康情報等を個人向けポータルサイトで提供	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	加入者全員	登録者 10,582人（登録率 17.5%） 利用動奨として、パンフレットの配付を実施	登録者は増加傾向にあるが、全体として大幅な増加に至ってはいない。 利活用しなくなるような機能の充実及び申請機能のさらなる拡充が必要である。	登録者 9,313人 （登録率15.2%）
	健康講座	【目的】 健康意識の醸成・健康教育 【概要】 ①「新入社員健康講座」を実施 ②3月に「健康講座」を開催予定	被保険者	全て	男女	18 ~ 74	加入者全員	参加者数 ①9事業所 129人 ②3月に開催予定	新入社員健康講座は参加者が少なく、講義内容等工夫が必要である。次年度はWEBによるオンライン開催を予定	①10事業所 94人 ②30事業所 38人
	女性の健康・育児相談窓口	【目的】 子育て支援 【概要】 現役の産婦人科医・小児科医・助産師へ直接相談が可能	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~ 74	加入者全員	未実施	健康保険組合連合会東京連合会主催の事業により実施予定であったが、費用対効果を鑑み、契約を見送った	
	育児指導図書配付	【目的】 情報発信・子育て支援 【概要】 「月刊赤ちゃん!」、季刊育児図書「ラシタス」の配付	被保険者 被扶養者	全て	女性	16 ~ 74	基準該当者	出産育児一時金申請者に対し、希望する者に一年間「月刊赤ちゃん!」を配付終了後、季刊育児図書の「ラシタス」を3か月ごとに4回配付 「赤ちゃん!」 659部 「ラシタス」 356部	案内率：100%	「赤ちゃん!」 912部 「ラシタス」 356部

予算科目	事業名	事業の目的および概要	対象者					令和7年度		備考 (令和6年12月末時点)
			資格	対象事業所	性別	年齢	対象者	実施状況(12月末日現在)	振り返り	
個別の事業										
特定健康診査事業	特定健診 (被保険者)	【目的】 被保険者の健康維持及び受診率の向上 【概要】 事業主が行う定期健康診断と併せて共同実施 また、健康診断の補助金事業も実施	被保険者	全て	男女	40 ~ 74	加入者全員	26,837人受診 【内訳】 都内隣接県 8,742人 組合内ドック 1,128人 契約ドック 7,650人 遠隔地 7,670人 補助金健診 937人 女性生活習慣病予防健診 656人 その他(事業外) 54人	当健康保険組合の事業以外で健診を受けている者(自費や全額事業主負担等)がいる事業所に対して健診結果の提出を依頼しているが、回収に苦慮している。	26,317人受診 【内訳】 都内隣接県 8,950人 組合内ドック 1,132人 契約ドック 6,925人 遠隔地 7,244人 補助金健診 1,231人 女性生活習慣病予防健診 549人 その他(事業外) 286人
特定健康診査事業	特定健診 (被扶養者)	【目的】 被扶養者の健康維持及び受診率の向上 【概要】 各種健康診断及び補助金事業により実施	被扶養者	全て	男女	40 ~ 74	加入者全員	2,524人受診 【内訳】 女性生活習慣病予防健診 1,234人 組合内ドック 99人 契約ドック 372人 特定健診 641人 組合内特定健診 140人 その他(事業外) 38人	6月に受診勧奨をしているものの、受診者は依然として少ない状況である。 未受診の方で昨年度健康診断を受診した方には、健診結果の提出依頼を行い、受診率の向上に努める。	2,173人受診 【内訳】 女性生活習慣病予防健診 1,100人 組合内ドック 95人 契約ドック 298人 特定健診 518人 組合内特定健診 145人 その他(事業外) 17人
	長期健診未受診者に対する受診勧奨	【目的】 健診の受診率の向上 【概要】 健診未受診者に対し、事業所を通じて受診勧奨等を実施	被保険者	全て	男女	18 ~ 74	基準該当者	6月に143事業所667人に対して実施	実施した結果、72事業所287人の方が健保の事業以外で受診していたため、健診結果の提出を求めた。 健診結果の回収は、37事業所153人だった。 参考・・・未回答 13事業所 71人 未受診 56事業所 106人	6月に147事業所925人に対して実施
特定保健指導事業	特定保健指導	【目的】 生活習慣病リスク保有者の生活習慣・健康状態の改善 実施率の向上 【概要】 特定健診の結果を階層化の上、保健指導対象者を抽出し実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ~ 74	基準該当者	初回面接 894人実施 【内訳】 組合内 835人 分割実施分 425人 オンラインによる実施 397人 対面 13人 ケアプロ(株) 47人 スギ薬局 12人	事業所への訪問指導や小集団指導が断られる中、オンラインによる保健指導及び委託業者の活用により実施 新規業務委託先と契約するも利用者が増えない状況であった。	初回面接 946人実施 【内訳】 組合内 828人 分割実施分 427人 オンラインによる実施 364人 対面 37人 ケアプロ(株) 118人
	要治療者への受診勧奨	【目的】 重症化の予防 【概要】 要治療判定を受けた者に対し、文書による受診勧奨を実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ~ 74	基準該当者	組合内人間ドック等(紹介状発行者 303人) 都内隣接県総合巡回健診(緊急データ該当者 142人)	結果通知を送る際に受診勧奨の通知を同封。 組合内人間ドック等の受診者に対して、紹介状発行のリストにより医療機関受診を確認し、未受診者には電話にて連絡。 また、都内隣接県総合巡回健診で緊急データに該当する者には文書または電話にて受診勧奨を行っている。	
保健指導宣伝	医療費通知	【目的】 健康と医療費コストに対する意識の醸成及び受診内容の確認による医療費の適正化 【概要】 マイヘルスウェブにより情報提供	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	加入者全員	毎月、情報を更新し提供 (マイヘルスウェブ登録者 10,582人)	情報提供は計画どおり実施しているが、閲覧がマイヘルスウェブ登録者に限られるため、マイヘルスウェブの利用促進を今後さらに進める必要がある。	

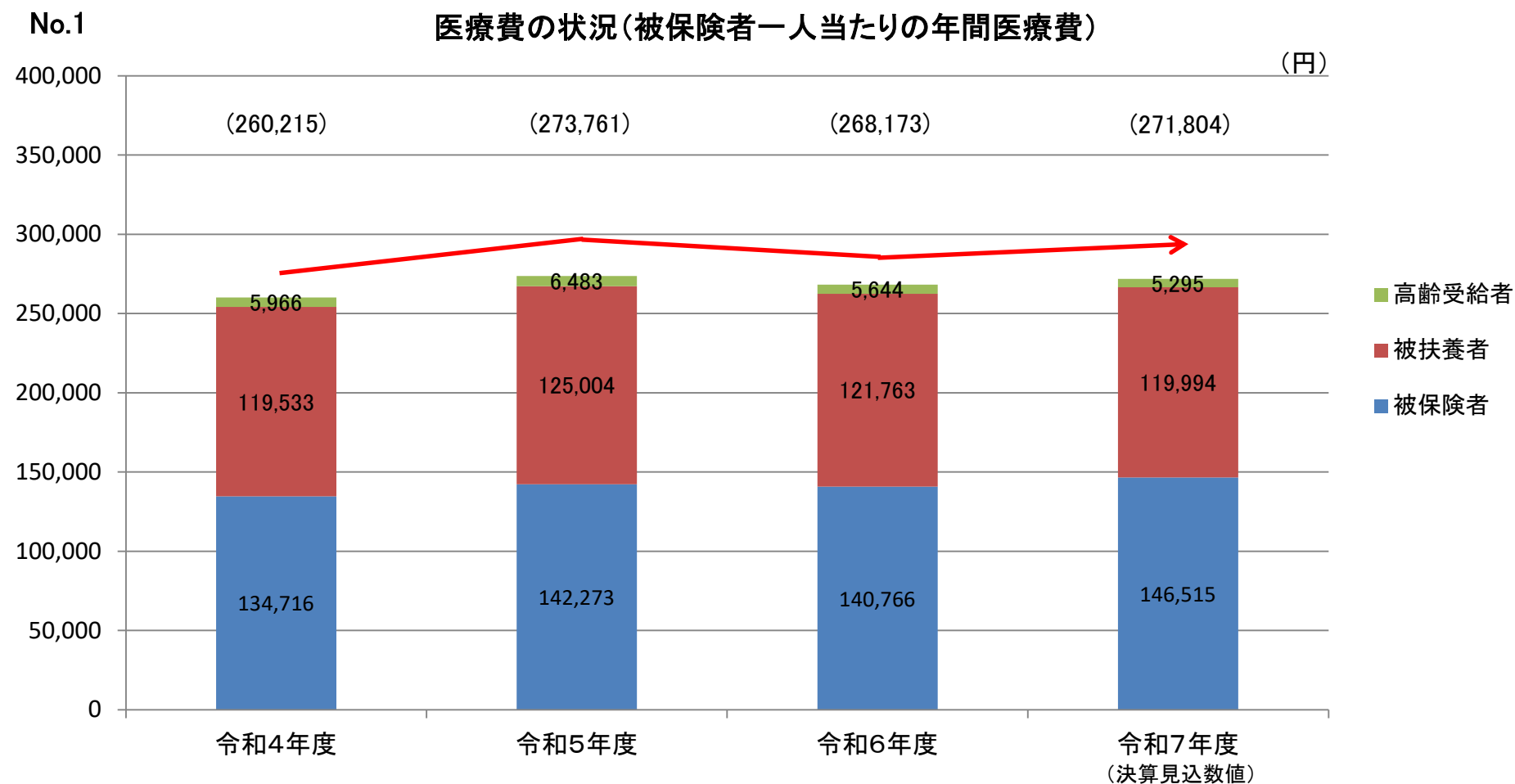
予算科目	事業名	事業の目的および概要	対象者					令和7年度		備考 (令和6年12月末時点)
			資格	対象事業所	性別	年齢	対象者	実施状況(12月末日現在)	振り返り	
保健指導宣伝	後発医薬品差額通知	【目的】 後発医薬品の使用促進及び調剤医療費の適正化 【概要】 切替え可能な後発医薬品とその差額をマイヘルスウェブにより情報提供	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	加入者全員	毎月、情報を更新し提供 (マイヘルスウェブ登録者 10,582人)	情報提供は計画どおり実施しているが、閲覧がマイヘルスウェブ登録者に限られるため、マイヘルスウェブの利用促進を今後さらに進める必要がある。	
	OTC医薬品活用促進	【目的】 医療費の適正化 【概要】 受診歴に対応するスイッチOTC医薬品等の活用を勧奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ~ 74	基準該当者	令和5年及び令和6年に花粉症で投薬を受けた方へ1月に通知予定	セルフメディケーションが少しずつ浸透してきており、今後も継続して実施していく必要がある。	(参考) 令和7年1月30日 2,683人に通知
疾病予防	都内隣接県地区総合巡回健康診断	【目的】 疾病の早期発見・早期治療 【概要】 都内及び隣接県(3県)地区の事業所に勤務する被保険者を対象に巡回健診車による健診を委託により実施	被保険者	全て	男女	18 ~ 74	加入者全員	受診者数 34歳以下 5,132人 35歳以上 10,658人	計画どおり実施できている。	34歳以下 5,165人 35歳以上 10,797人
	遠隔地指定地区健康診断	【目的】 疾病の早期発見・早期治療 【概要】 全国12地区の事業所に勤務する被保険者を対象に契約健診機関で実施	被保険者	全て	男女	18 ~ 74	加入者全員	受診者数 34歳以下 4,083人 35歳以上 9,208人	計画どおり実施できている。	34歳以下 3,648人 35歳以上 8,261人
	女性生活習慣病予防健診	【目的】 婦人科疾患の早期発見・早期治療 【概要】 40歳以上の女性被保険者及び被扶養者を対象に東振協への委託により実施	被保険者 被扶養者	全て	女性	40 ~ 74	加入者全員	受診者数 被保険者 656人 被扶養者 1,234人	概ね計画どおり実施できている。 被扶養者の受診率向上のためにも、さらに広報を強化するなどの工夫が今後の課題である。	被保険者 549人 被扶養者 1,100人
	組合内人間ドック	【目的】 疾病の早期発見・早期治療 【概要】 40歳以上の被保険者及び被扶養者を対象に当健康保険組合の健康管理センターで実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ~ 74	加入者全員	受診者数 被保険者 1,128人 被扶養者 99人	計画どおり実施できている。	被保険者 1,132人 被扶養者 95人
	健康診断補助金	【目的】 疾病の早期発見・早期治療 【概要】 都内隣接県地区及び遠隔地指定地区以外の事業所に勤務する被保険者の健診費用を補助	被保険者	全て	男女	18 ~ 74	加入者全員	利用者数 34歳以下 696人 35歳以上 1,235人	計画どおり実施できている。	34歳以下 982人 35歳以上 1,637人
	家族健康診断補助金	【目的】 疾病の早期発見・早期治療 【概要】 39歳以下の被扶養者の健診費用を補助	被扶養者	全て	男女	18 ~ 39	加入者全員	利用者数 22人	利用者は少ないが、概ね計画どおり実施できている。	利用者数 17人
	乳がん・子宮がん検診補助金	【目的】 乳がん・子宮がんの早期発見・早期治療 【概要】 39歳以下の女性被保険者の乳がん・子宮がん検診費用を補助	被保険者	全て	女性	18 ~ 39	加入者全員	利用者数 乳がん 15人 子宮がん 6人 両方 14人	利用者は少ないが、概ね計画どおり実施できている。	乳がん 11人 子宮がん 4人 両方 14人

予算科目	事業名	事業の目的および概要	対象者					令和7年度		備考 (令和6年12月末時点)
			資格	対象事業所	性別	年齢	対象者	実施状況(12月末日現在)	振り返り	
疾病予防	契約医療機関人間ドック補助金	【目的】 疾病の早期発見・早期治療 【概要】 40歳以上の被保険者及び被扶養配偶者の人間ドック費用を補助	被保険者 被扶養配偶者	全て	男女	40 ~ 74	加入者全員	利用者数 被保険者 7,650人 被扶養配偶者 372人	計画どおり実施できている。	被保険者 6,925人 被扶養配偶者 298人
	脳ドック補助金	【目的】 脳血管疾患の早期発見・早期治療 【概要】 45、50歳及び55歳以上の被保険者の脳ドック費用を補助	被保険者	全て	男女	45 ~ 74	加入者全員	利用者数 194人	計画どおり実施できている。	利用者数 165人
	インフルエンザ予防接種補助金	【目的】 インフルエンザの罹患又は重症化の予防 【概要】 64歳以下の被保険者及び被扶養者のインフルエンザ予防接種費用を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 64	加入者全員	利用者数 東振協 1,326人 事業所一括 80人 マイヘルスウェブ 463人	計画どおり実施できている。	東振協 1,139人 事業所一括 125人 マイヘルスウェブ 1,272人
	重症化予防保健指導	【目的】 重症化の予防 【概要】 40歳以上の糖尿病性腎症及び高血圧症の者に対し当健康保険組合の糖尿病療養指導士及び管理栄養士により実施	被保険者	全て	男女	40 ~ 74	基準該当者	受診勧奨実施者数 文書勧奨 69人 電話勧奨 47人	特定保健指導対象者に時間を割いているため、重症化予防の対象者には医療機関への受診勧奨を主として取り組んでいる。	受診勧奨実施者数 文書勧奨 121人 電話勧奨 42人
	メンタルヘルス事業	【目的】 心の健康づくり 【概要】 電話・WEBによるカウンセリングを東振協に委託し実施 厚生労働省HPのサイトを併せて広報する	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	加入者全員	相談者数 電話相談 223人 WEB相談 9人	昨年同期に比べ相談者は若干増加しているが、全体的に利用者は少ない。	電話相談 224人 WEB相談 4人
体育奨励	潮干狩り	【目的】 健康の保持・増進 【概要】 千葉県木更津で実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	加入者全員	千葉で4月～7月に実施 65事業所 790人	参加料金を無料にしていることや、会場を2カ所（選択制）にしていることで参加者数が多い。さらに参加人数を増やすため、広報の強化を図る。	69事業所 840人
	軟式野球大会	【目的】 健康の保持・増進 【概要】 大宮けんぼグラウンドで開催	被保険者	全て	男女	18 ~ 74	加入者全員	5～6月に開催 9チーム 157人	会社で野球チームを持っているところが少なく、開催場所を変更したがそれほどチーム数が増えない状況。次年度参加料を無料にして開催。	7チーム 113人
	フットサル大会	【目的】 健康の保持・増進 【概要】 狭山体育園で開催	被保険者	全て	男女	18 ~ 74	加入者全員	11月に開催 14チーム 126人	これまで狭山体育園で開催していたが、次年度は開催場所を都内に変更し、さらに参加料を無料にして開催するため、事業所への周知徹底を図り参加チーム増加を期待したい。	11チーム 93人

予算科目	事業名	事業の目的および概要	対象者					令和7年度		備考 (令和6年12月末時点)
			資格	対象事業所	性別	年齢	対象者	実施状況(12月末日現在)	振り返り	
体育奨励	ソフトボール大会	【目的】 健康の保持・増進 【概要】 東京葉業健康保険組合総合運動場内グラウンドで開催	被保険者 被扶養者	全て	男女	12 ~ 74	加入者全員	9月に開催 11チーム 129人	猛暑対策のため、実施時期を9月中旬以降に変更。また、次年度は開催場所を変更するため、事業所への周知徹底を図り参加チーム増加を期待したい。	9チーム 121人
	ハイキング	【目的】 健康の保持・増進 【概要】 愛知、大阪、神奈川で開催	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	加入者全員	東海地区で7月～10月に実施(ぶどう狩り) 32事業所 312人 関東地区で11月に実施(みかん狩り) 73事業所 1,003人 関西地区で10月～12月に実施(みかん狩り) 12事業所 186人	家族で参加できることもあり、いずれの地区も参加者が増加した。	東海地区(ぶどう狩り) 25事業所 303人 関東地区(みかん狩り) 65事業所 791人 関西地区(みかん狩り) 12事業所 164人
	ウォークラリー	【目的】 健康の保持・増進 【概要】 マイヘルスウェブを利用しWeb上で開催	被保険者	全て	男女	18 ~ 74	加入者全員	10月～11月に実施 (マイヘルスウェブを利用したウォークラリー) 112事業所 923人	参加者がマイヘルスウェブに歩数を記録し、順位を決めるウォークラリーを実施。 楽しく歩けるコンテンツを盛り込んで実施した結果、昨年度より参加者が増えた。 引き続き、より多くの人が参加するようなコンテンツを検討したい。	104事業所 736人
	ロングランボウリング大会	【目的】 健康の保持・増進 【概要】 期間を設定して全国のボウリング場で開催	被保険者 被扶養者	全て	男女	6 ~ 74	加入者全員	9月～10月に実施 31事業所 380人 日本ボウリング場協会 21事業所 164人 ROUND 1 19事業所 216人	全国にある、ROUND 1と日本ボウリング場協会加盟の施設が利用できることで参加者が多い。	9月～10月に実施 30事業所 421人 日本ボウリング場協会 24事業所 208人 ROUND 1 22事業所 213人
狭山体育園	【目的】 健康の保持・増進 【概要】 野球場、テニス・フットサル兼用コートの利用	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	加入者全員	利用者数 野球場 0人 テニス 789人 フットサル 355人	野球場については閉鎖をした。 フットサルについては近隣の利用者が激減した。	野球場 2,785人 テニス 822人 フットサル 929人	
直営保養所	箱根仙石荘	【目的】 加入者の健康増進やリフレッシュ 【概要】 加入者の保養や加入事業所の研修等に使用	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	加入者全員	利用者数 2,951人	コロナ以降徐々に増えてきたが、利用者数は横ばいの状況にある。	利用者数 3,051人
契約保養所	契約保養所	【目的】 健康の保持・増進 【概要】 契約保養所の宿泊時に利用料金の補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	加入者全員	利用者数 JTB契約保養所 129人 ラフォーレ倶楽部 178人 塩沢江戸川荘 27人 ザ グラン リゾート 21人	コロナ以降徐々に増えてきたが、利用者数は横ばいの状況にある。	利用者数 JTB契約保養所 139人 ラフォーレ倶楽部 177人 塩沢江戸川荘 26人 たびゲーター 61人 ザ グラン リゾート 35人

予算科目	事業名	事業の目的および概要	対象者					令和7年度		備考 (令和6年12月末時点)
			資格	対象事業所	性別	年齢	対象者	実施状況(12月末日現在)	振り返り	
	契約保養所(ハワイ)	【目的】 健康の保持・増進 【概要】 海外のコンドミニアムと契約	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	加入者全員	利用者数 83人 198泊	利用人数は増加している。	利用者数 53人 156泊
(予算措置なし)	家庭用常備薬の斡旋	【目的】 医療費の節減 【概要】 風邪等季節的疾患罹患時の対応や歯周病の予防等のため、割安な特納品等を斡旋	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	加入者全員	6月 申込者数 861人 申込個数 6,013個	利用状況は減少したが、需要度は高い。 セルフメディケーションの意識向上に繋げている。	6月 申込者数 1,010人 申込個数 7,698個

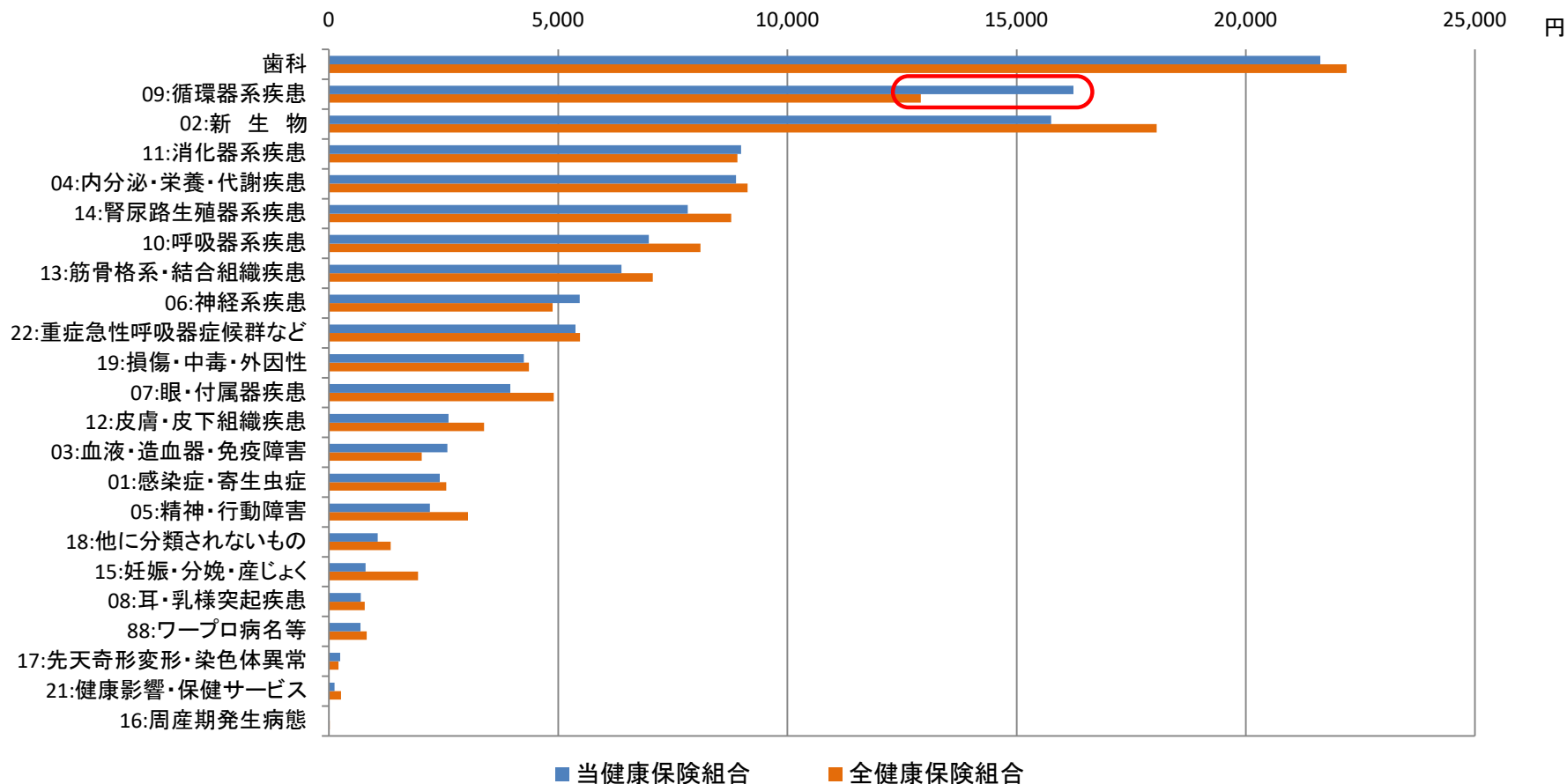
STEP 1 - 3 基本分析



被保険者一人当たりの年間医療費は、高齢化に伴い右肩上がりの傾向が続いており、今後の動向に注視する必要がある。

No.2

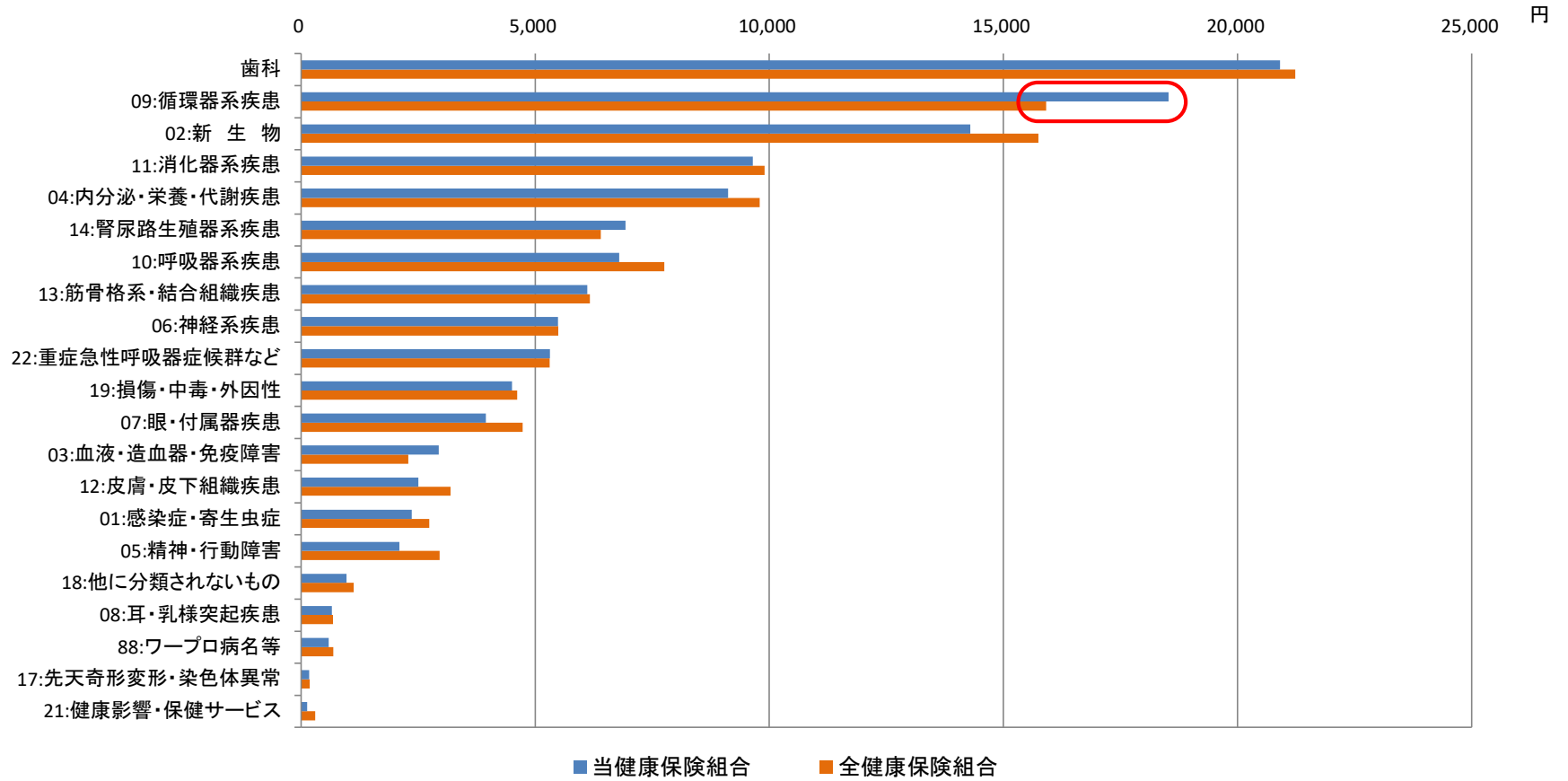
R5疾病大分類別一人当たり医療費(被保険者)



「歯科」、「循環器系疾患」、「新生物」、「消化器系疾患」、「内分泌・栄養・代謝疾患」の順に高く、その中でも「循環器系疾患」の一人当たり医療費は、全健康保険組合の平均より高く突出している。

No.3

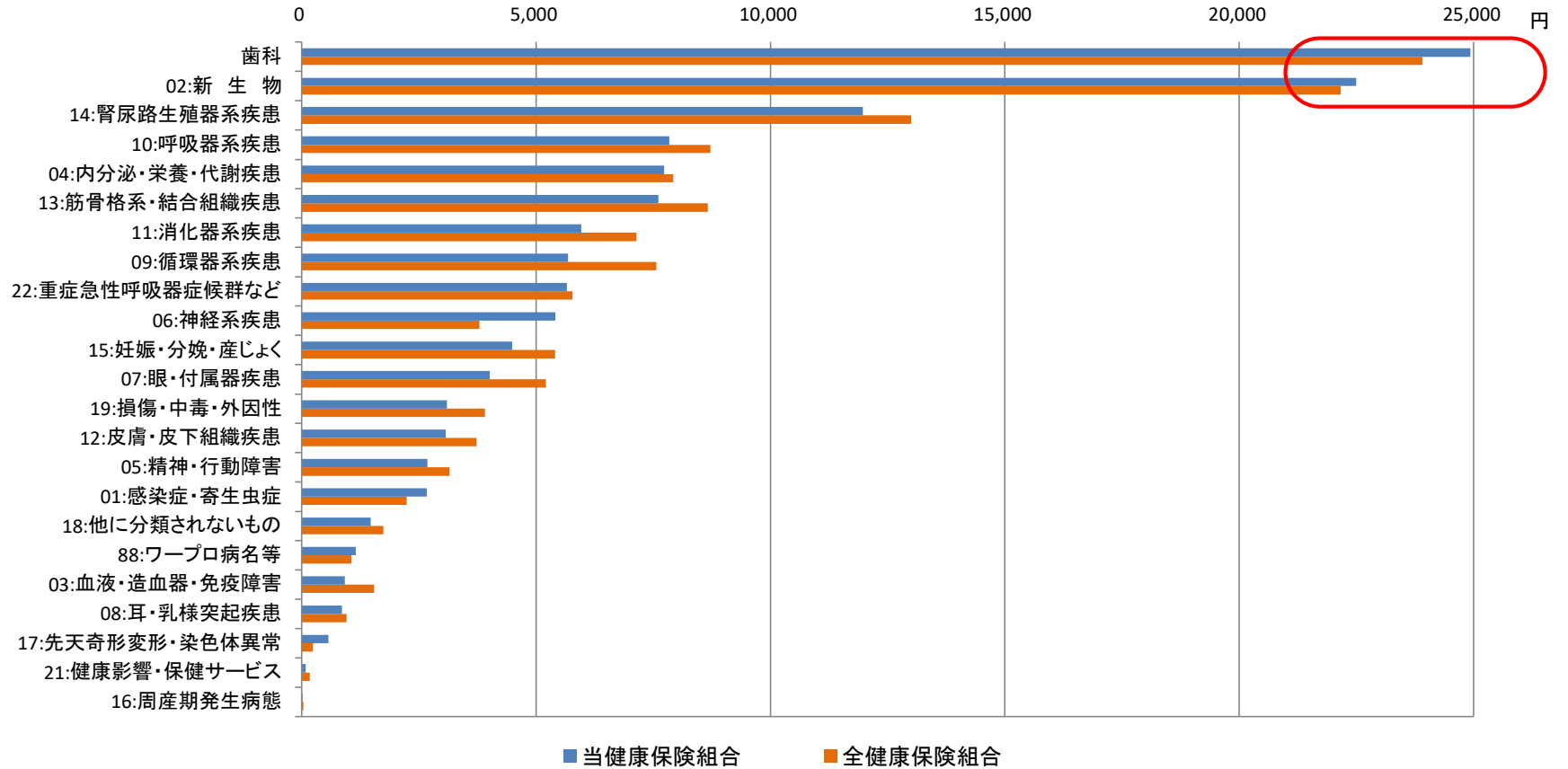
R5疾病大分類別一人当たり医療費(被保険者・男性)



「歯科」、「循環器系疾患」、「新生物」、「消化器系疾患」、「内分泌・栄養・代謝疾患」の順に高く、このうち特に「循環器系疾患」の一人当たり医療費が全健康保険組合の平均より高い。

No.4

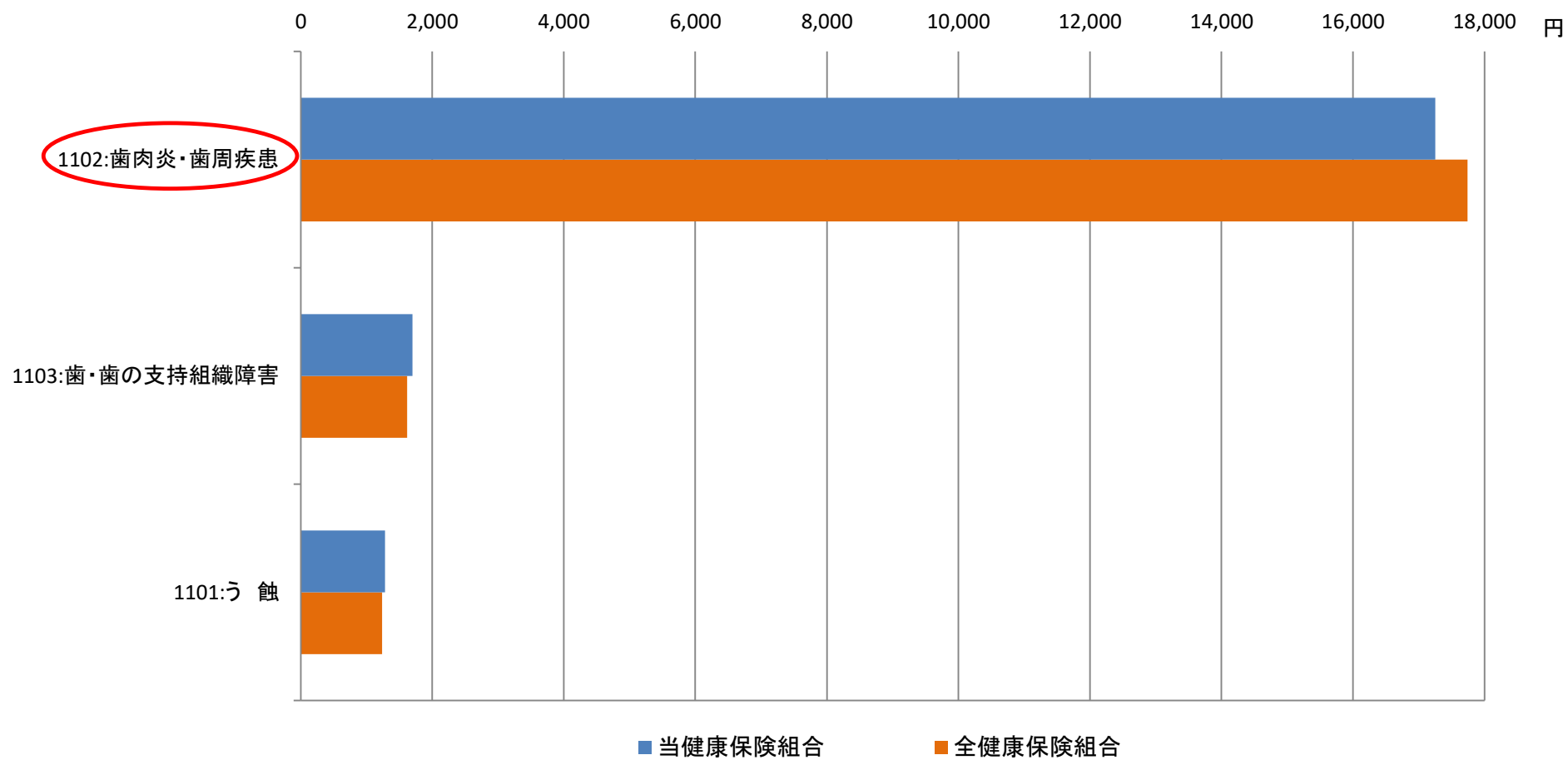
R5 疾病大分類別一人当たり医療費(被保険者・女性)



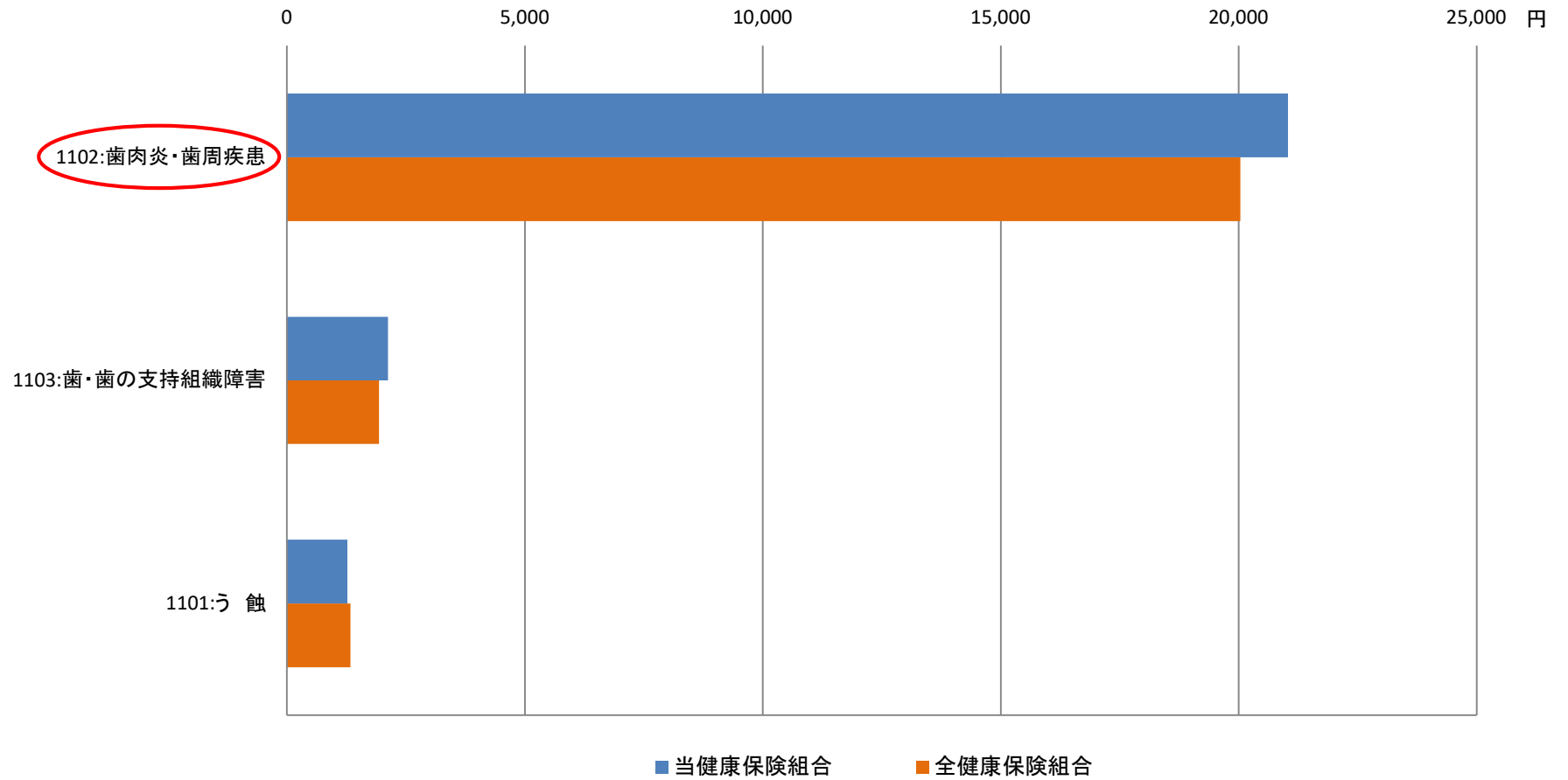
「歯科」、「新生物」、「腎尿路生殖器系疾患」、「呼吸器系疾患」、「内分泌・栄養・代謝疾患」の順に高く、このうち特に「歯科」、「新生物」の一人当たり医療費が全健康保険組合の平均より高い。

No.5

R5 疾病分類別(歯科)一人当たり医療費(被保険者・男性)



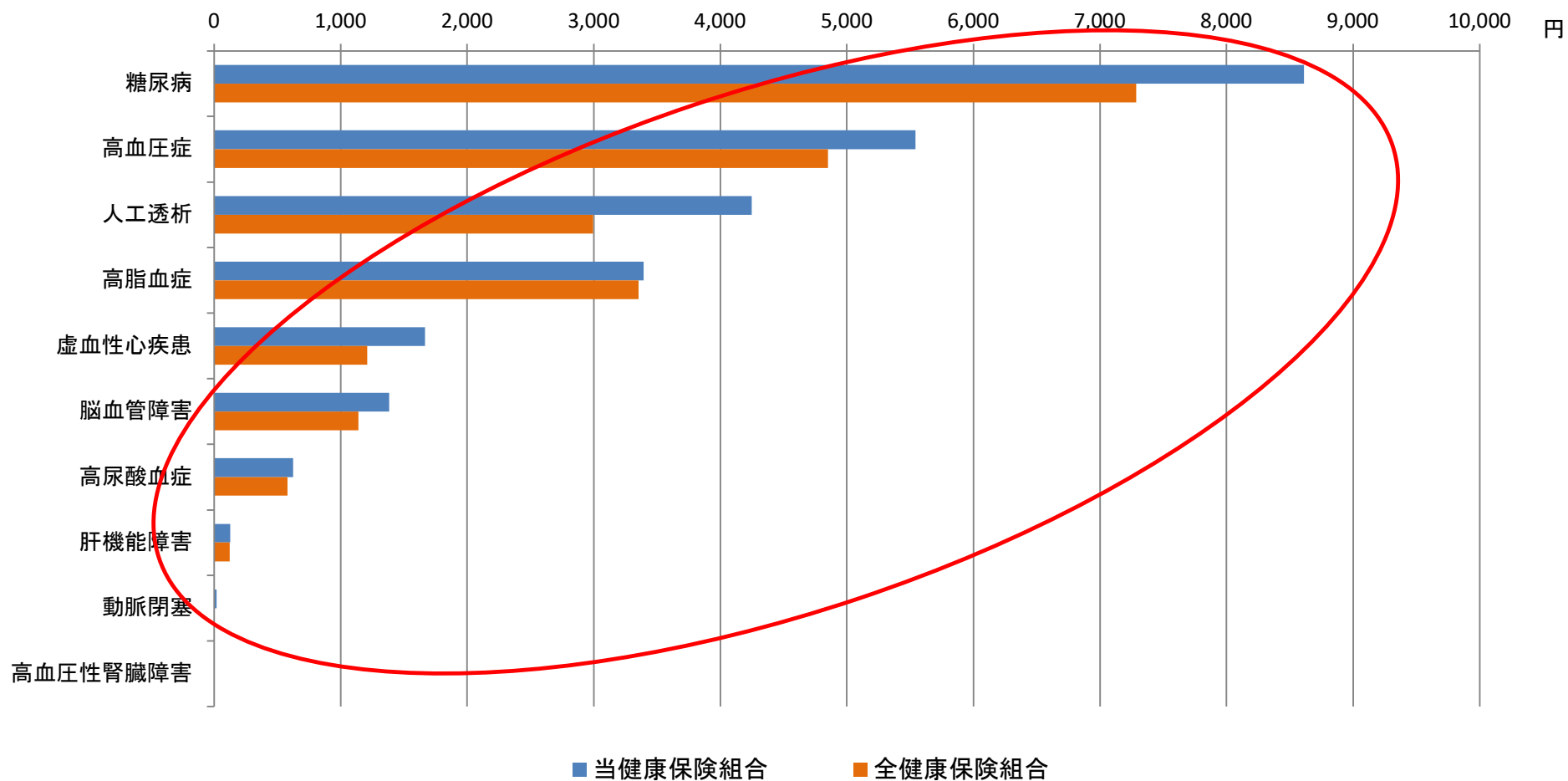
R5 疾病分類別(歯科)一人当たり医療費(被保険者・女性)



男女ともに「歯肉炎・歯周疾患」が群を抜いて高い。

No.6

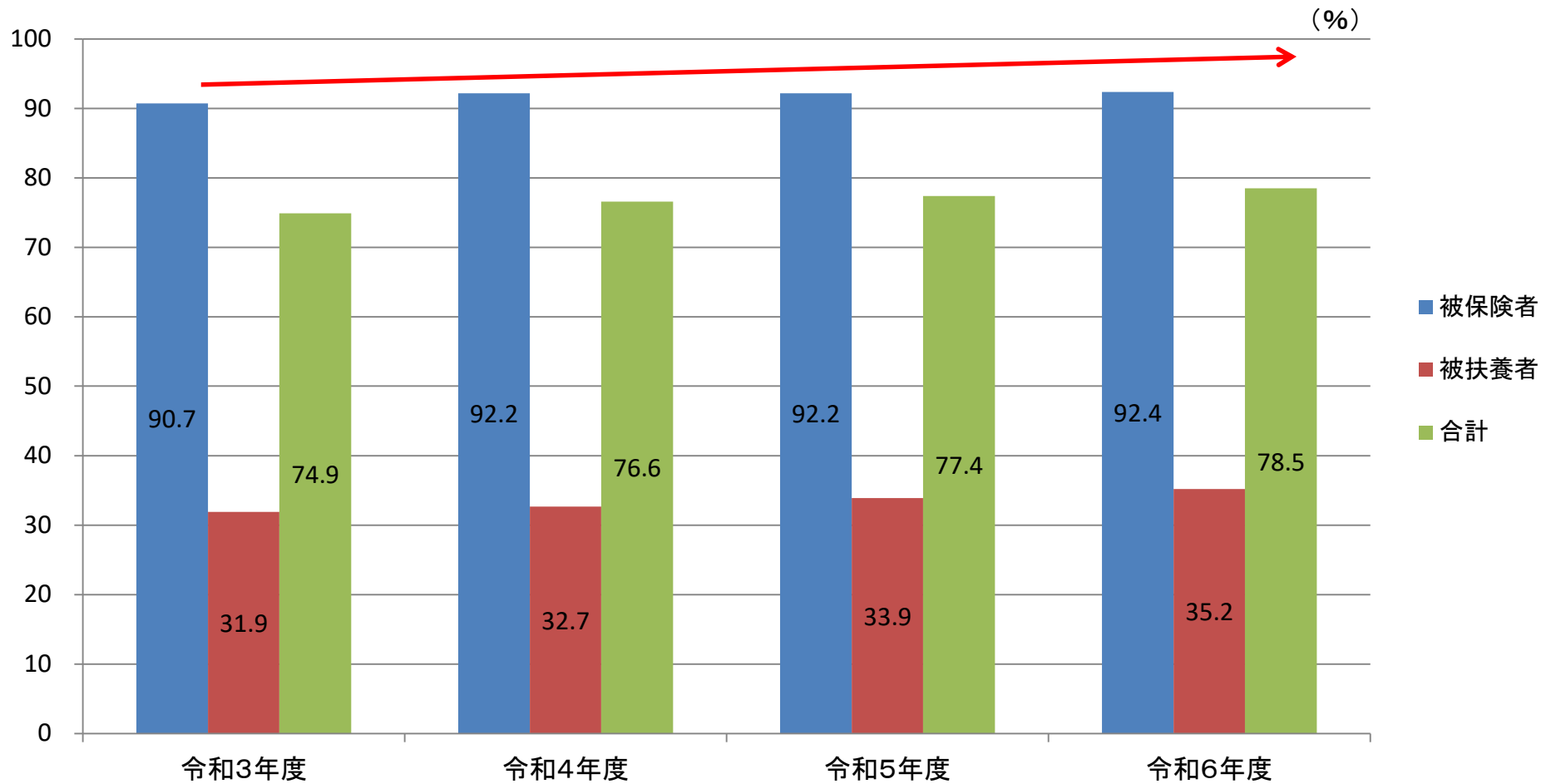
R5生活習慣病に関わる疾病の一人当たり医療費(被保険者)



「糖尿病」が特に高く、続いて「高血圧症」、「人工透析」、「高脂血症」、「虚血性心疾患」の順に高い。また、「高血圧性腎臓障害」以外、一人当たりの医療費は、いずれも全健康保険組合の平均より高い。

No.7

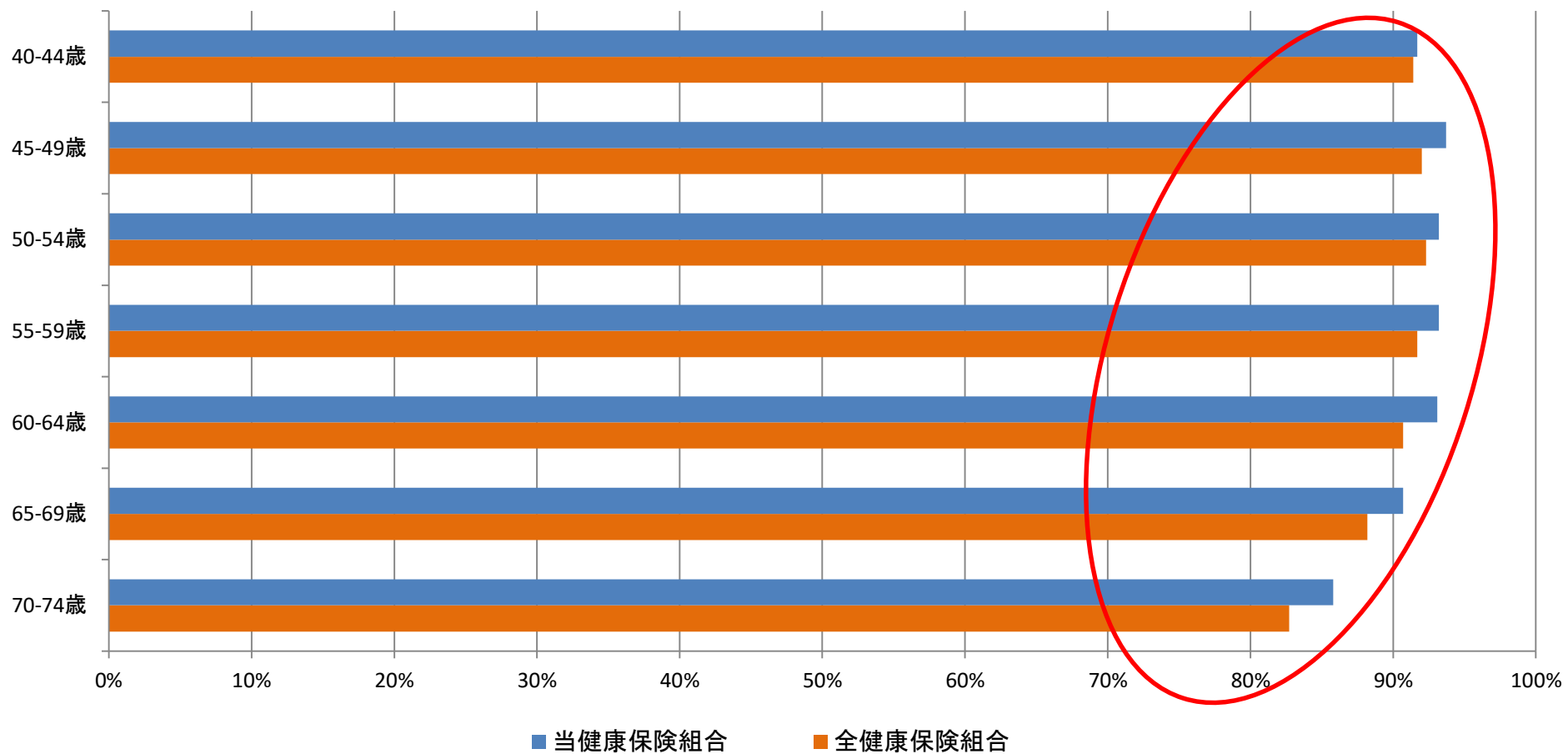
特定健診の受診率の推移



受診率は令和2年度に新型コロナの影響で一時低下したものの、令和3年度以降、回復している。
受診勧奨をしているが被扶養者の受診率がなかなか上がらず、別の方法を検討する必要がある。

No.8

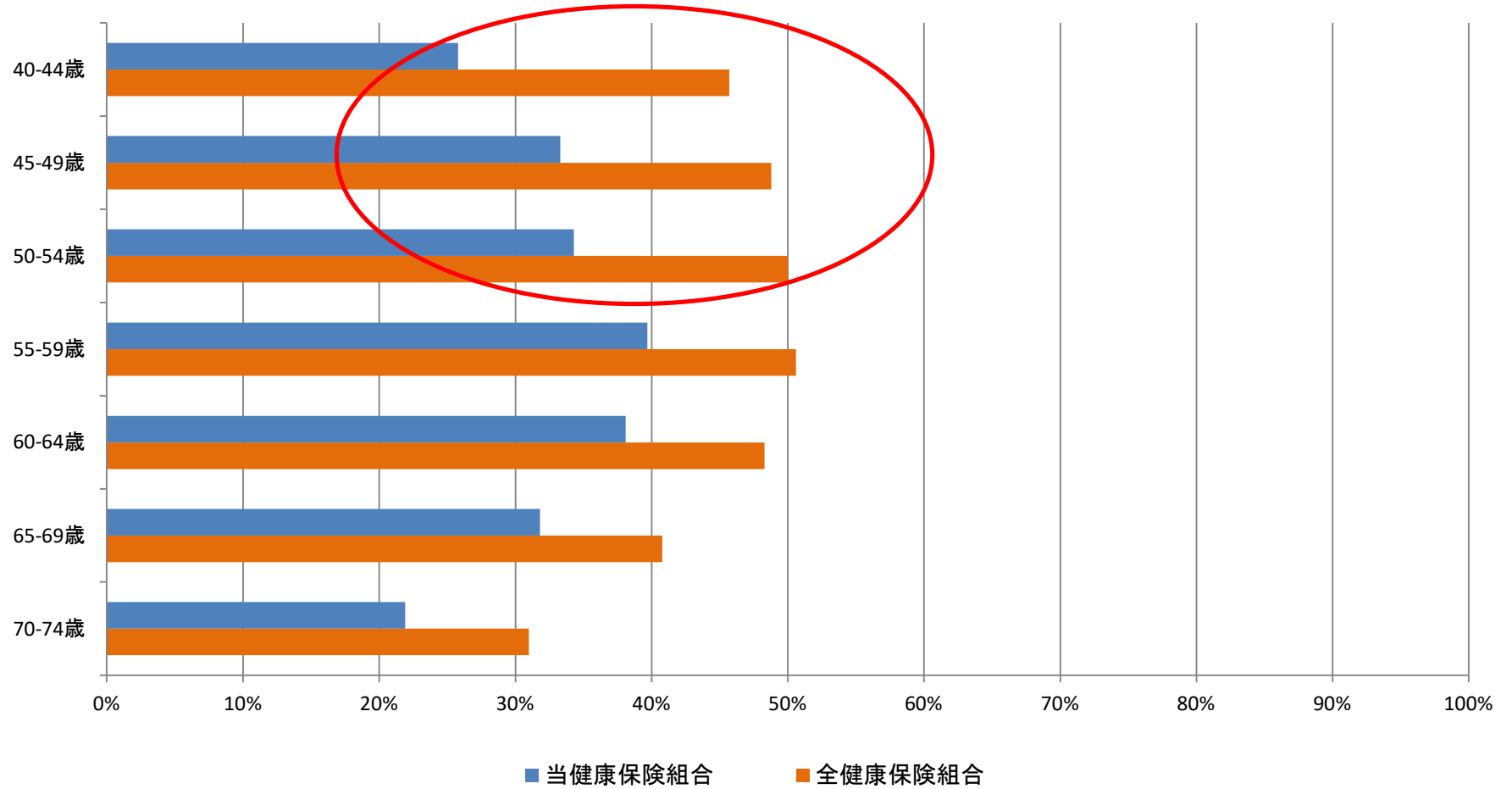
R5 特定健診の受診率(被保険者・年代別)



各年代ともに被保険者の特定健診の受診率は全健康保険組合の平均より高い。

No.9

R5 特定健診の受診率(被扶養者・年代別)

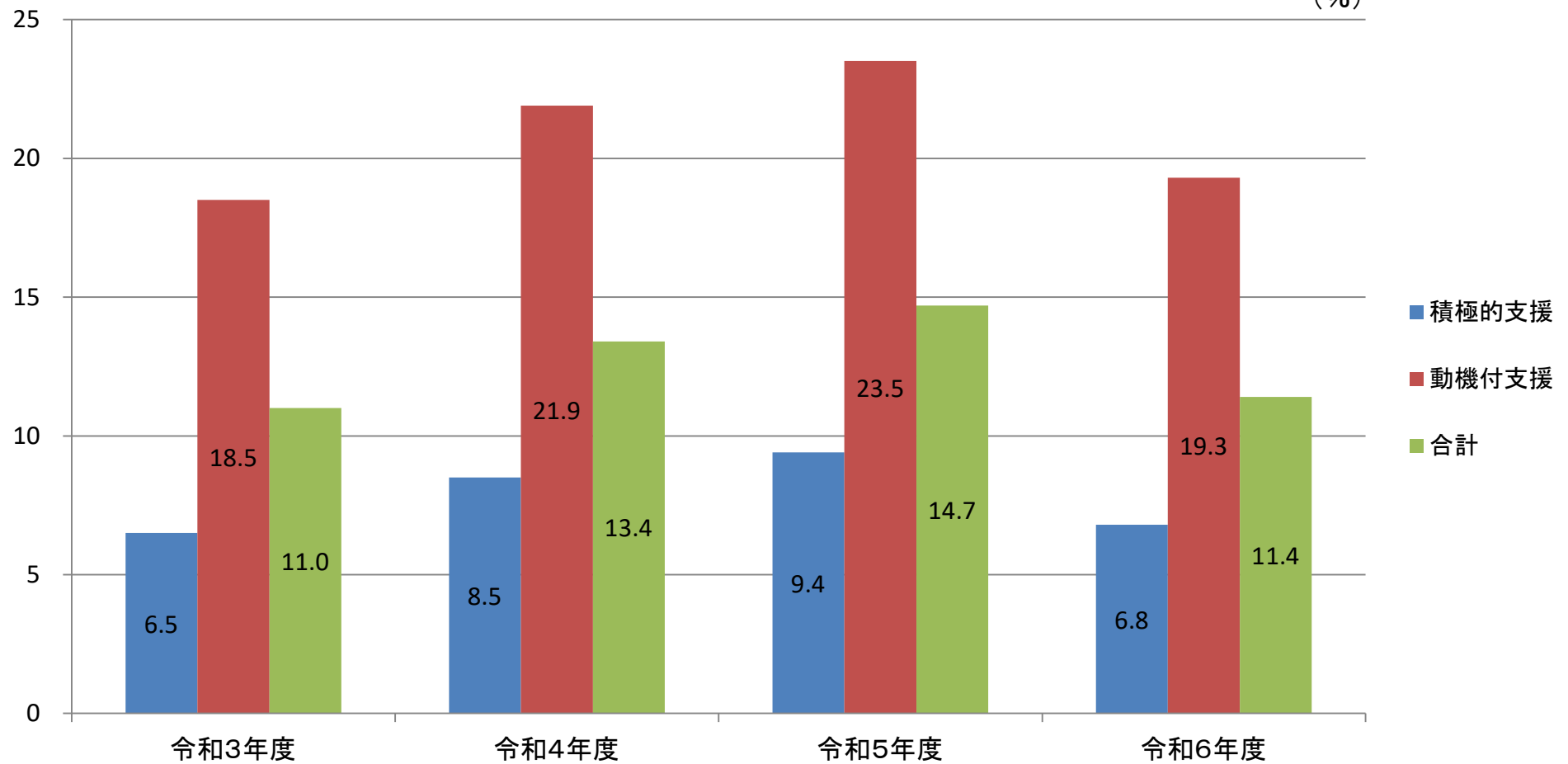


全年代とも全健康保険組合平均より低く、特に「40-44歳」、「45-49歳」、「50-54歳」は全健康保険組合の平均に比べてかなり低い。

No.10

特定保健指導の実施率の推移

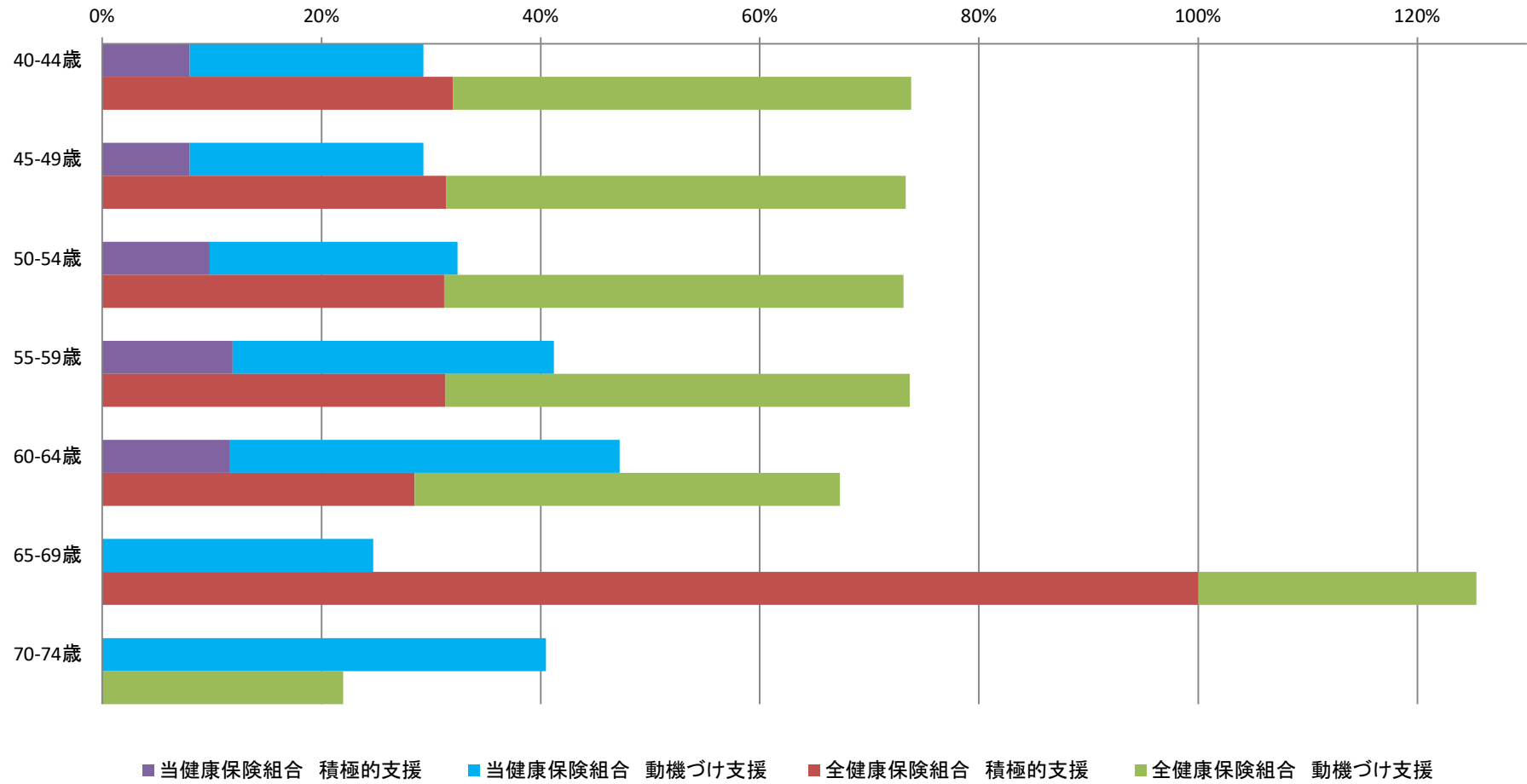
(%)



オンライン指導を取り入れたことにより増加傾向にあったが、令和6年度は減少した。より効率的かつ効果的な進め方を検討する必要がある。

No.11

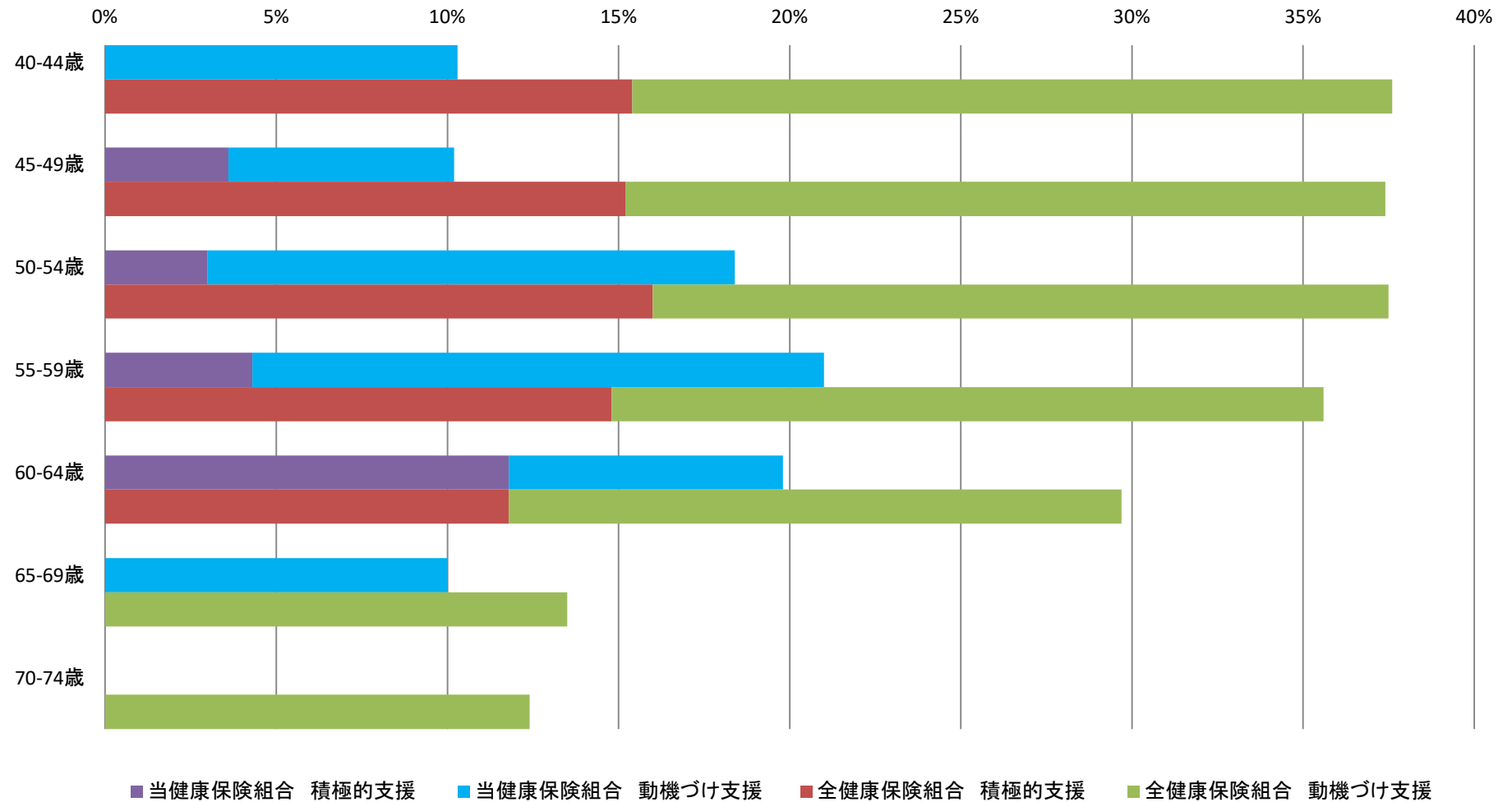
R5 特定保健指導実施率(被保険者・年代別)



全ての年代で全健康保険組合の平均よりも低く、実施率向上が今後の課題である。

No.12

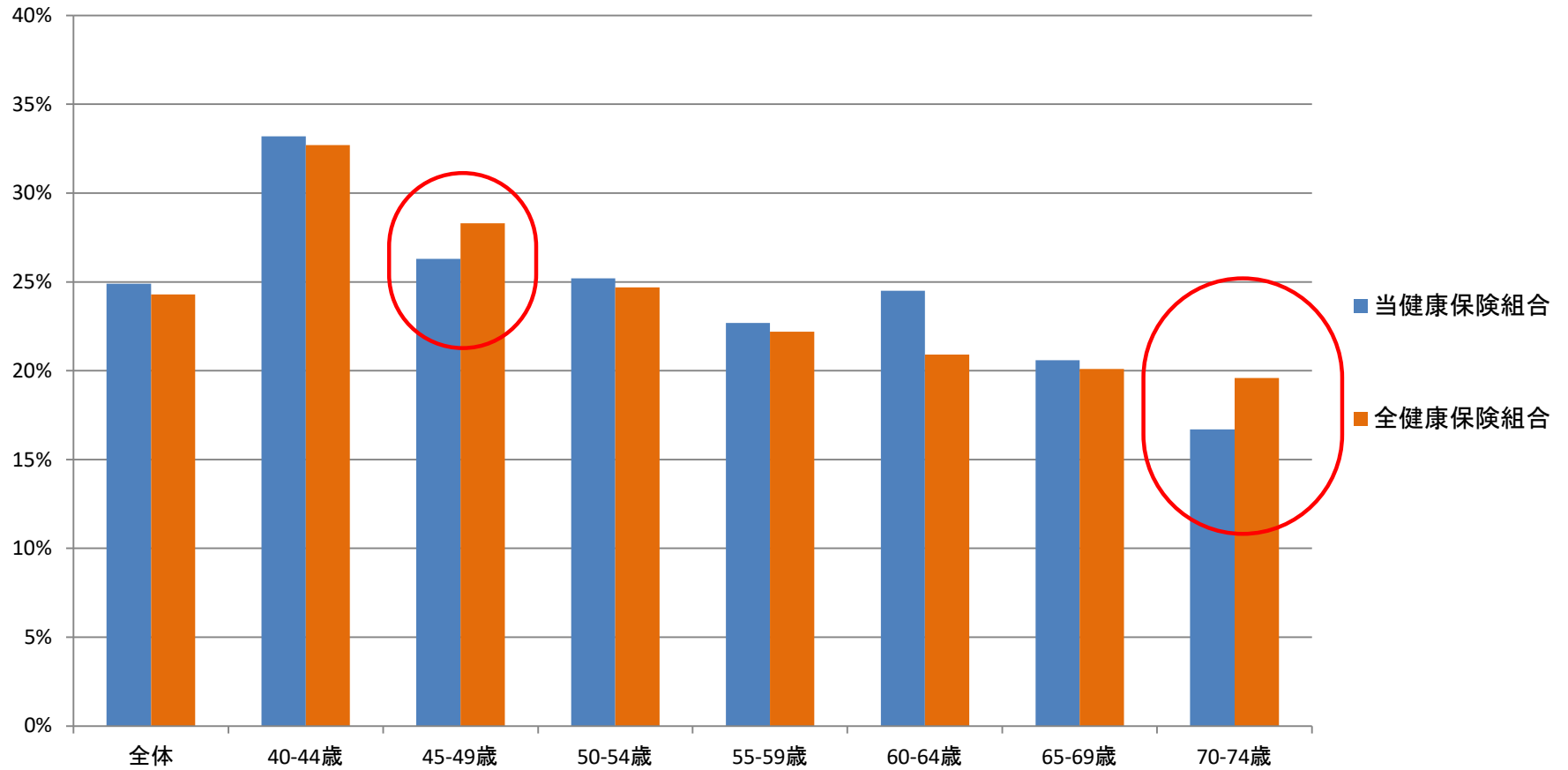
R5 特定保健指導実施率(被扶養者・年代別)



全ての年代において全健康保険組合の平均より低い。
 実施方法等の実務上の課題が多く、報告ベースの実施数は26名とかなり少ない。

No.13

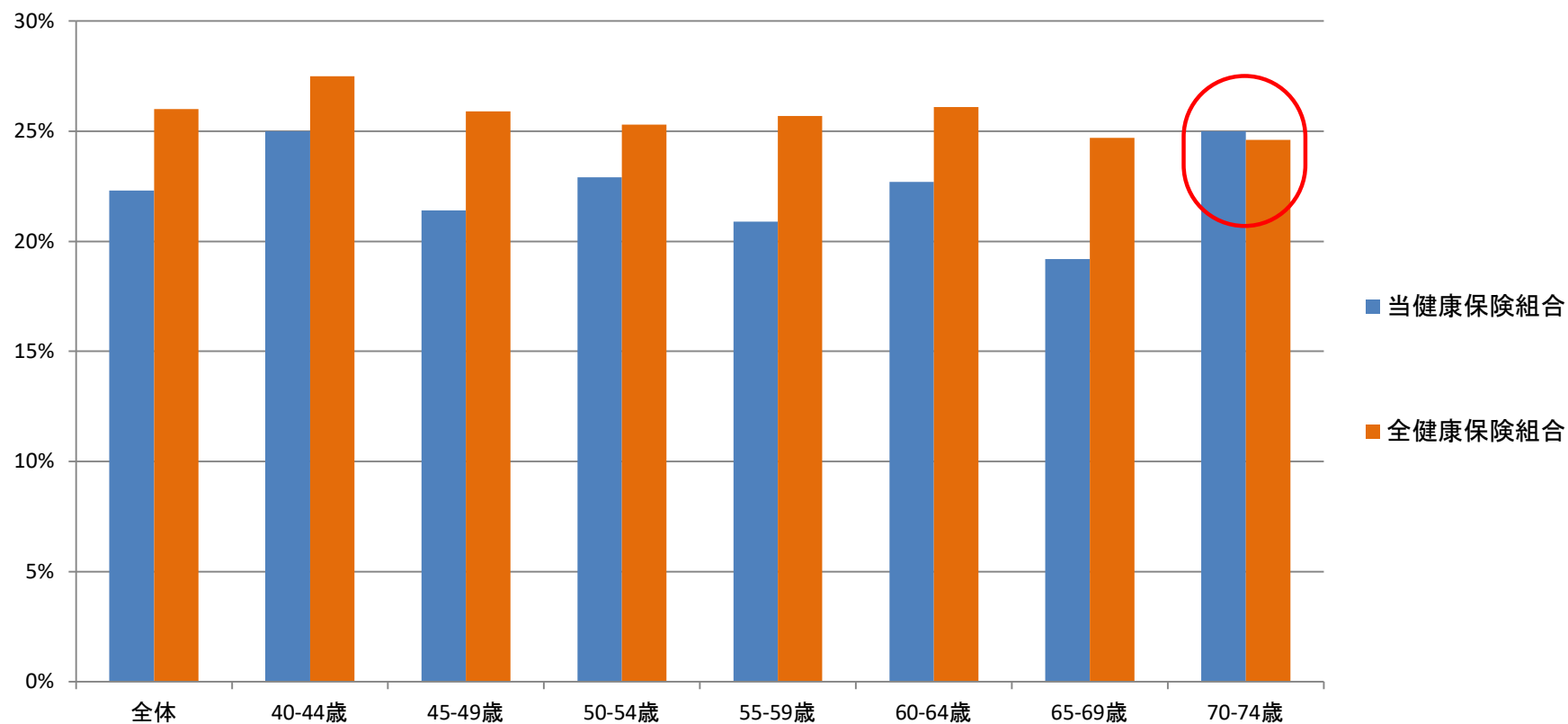
R5 メタボ該当者の改善率(被保険者・年代別)



全健康保険組合の平均より改善率が比較的高いが、「45-49歳」、「70-74歳」の改善率が低い。

No.14

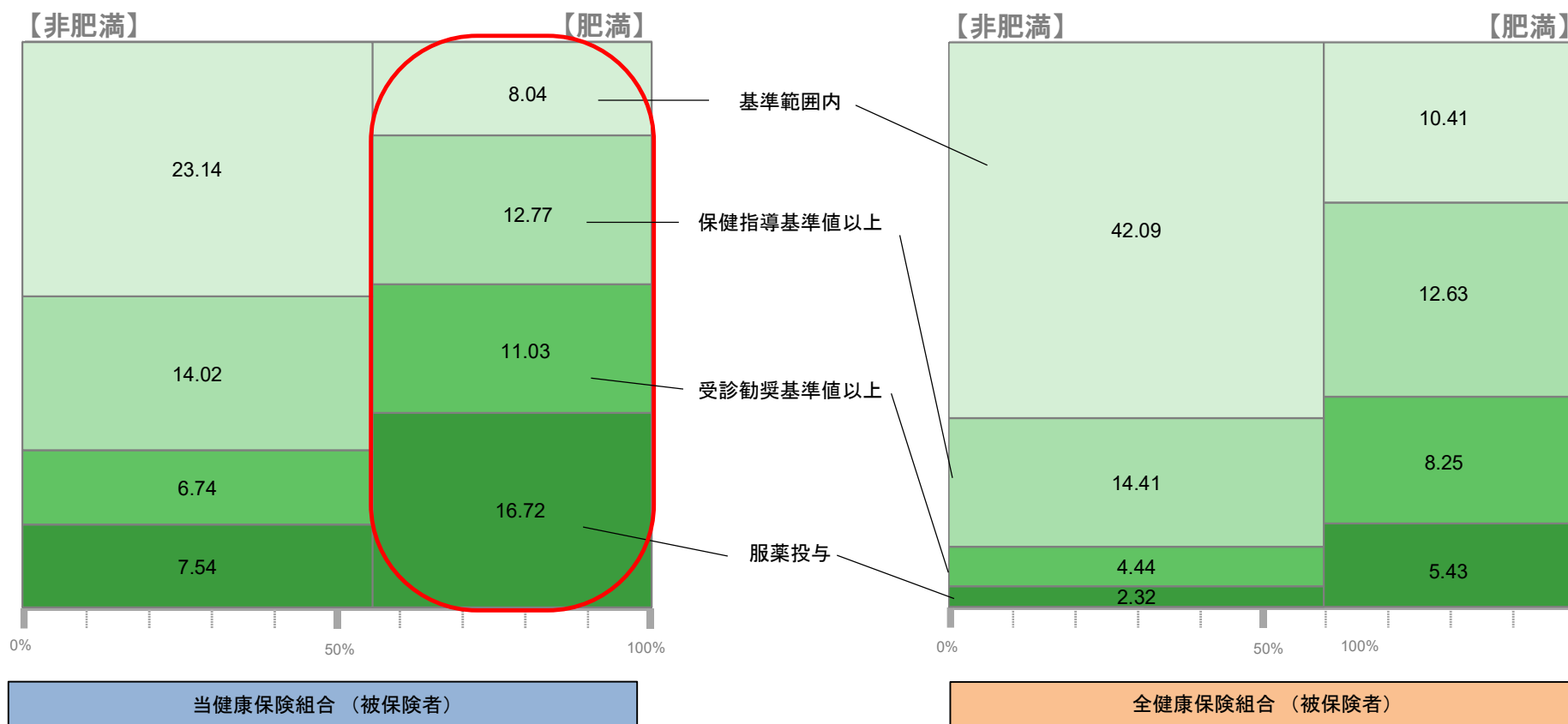
R5 特定保健指導対象者の改善率(被保険者・年代別)



全体的に改善率は低いですが、対象者数が少ない「70-74歳」の年代のみ改善率がやや高い。

No.15

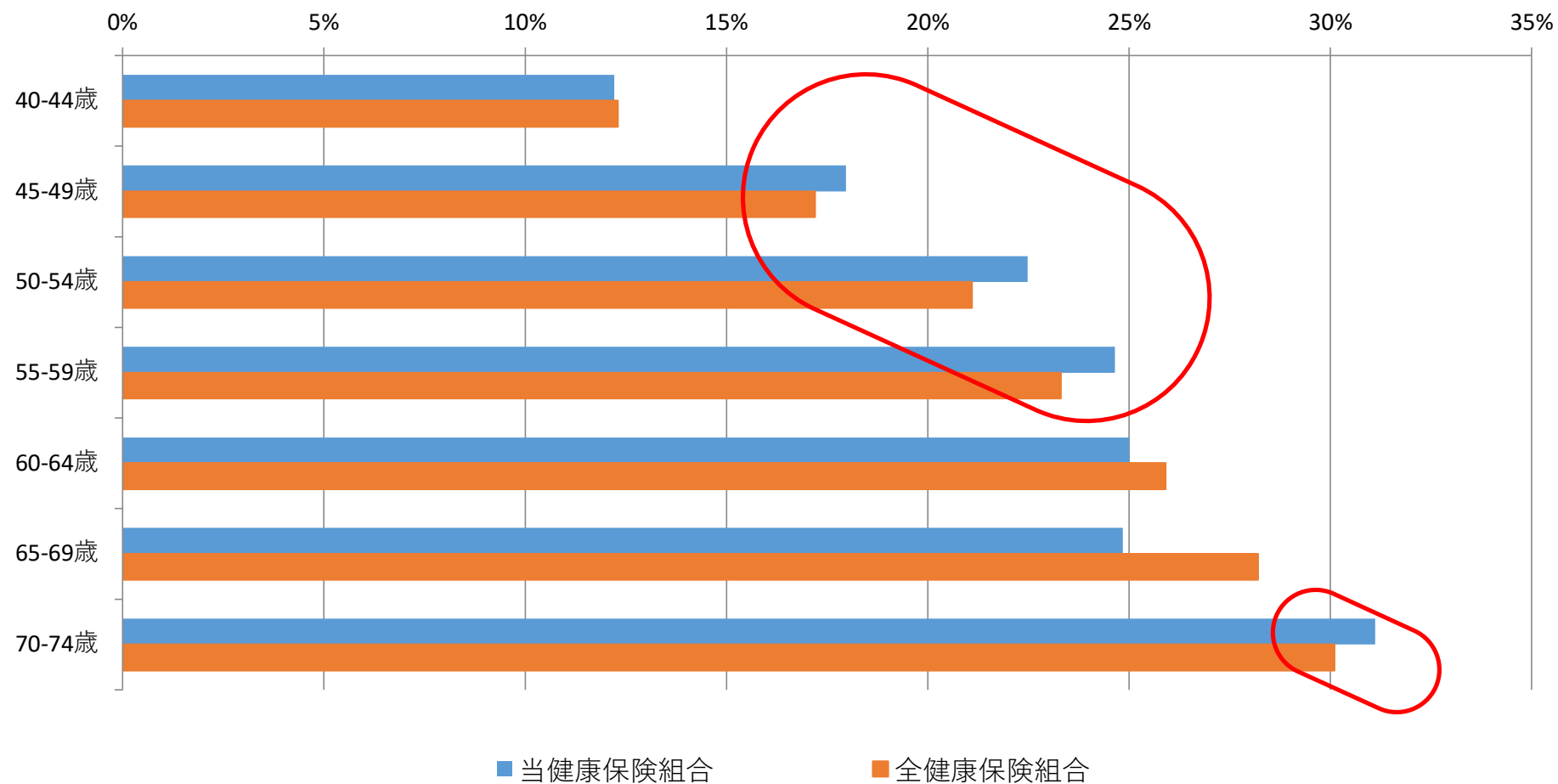
R5 健康分布図(被保険者)



全健康保険組合の平均に比べて、肥満者の割合が5%以上高い。

No.16

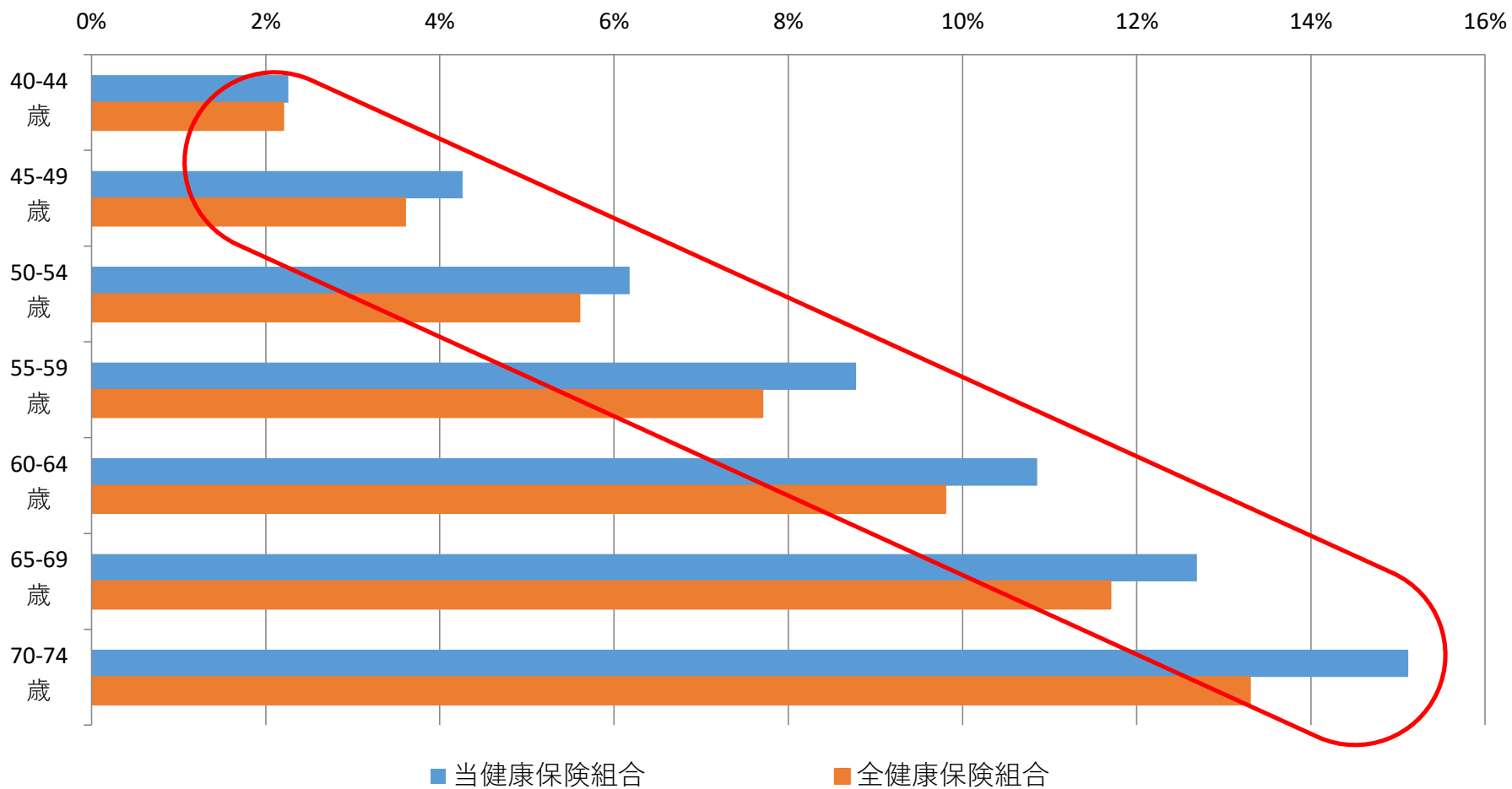
R 5 血圧値が受診勧奨基準以上の割合（被保険者・年代別）



「45-49歳」、「50-54歳」、「55-59歳」、「70-74歳」の年代が、全健康保険組合の平均より高い。

No.17

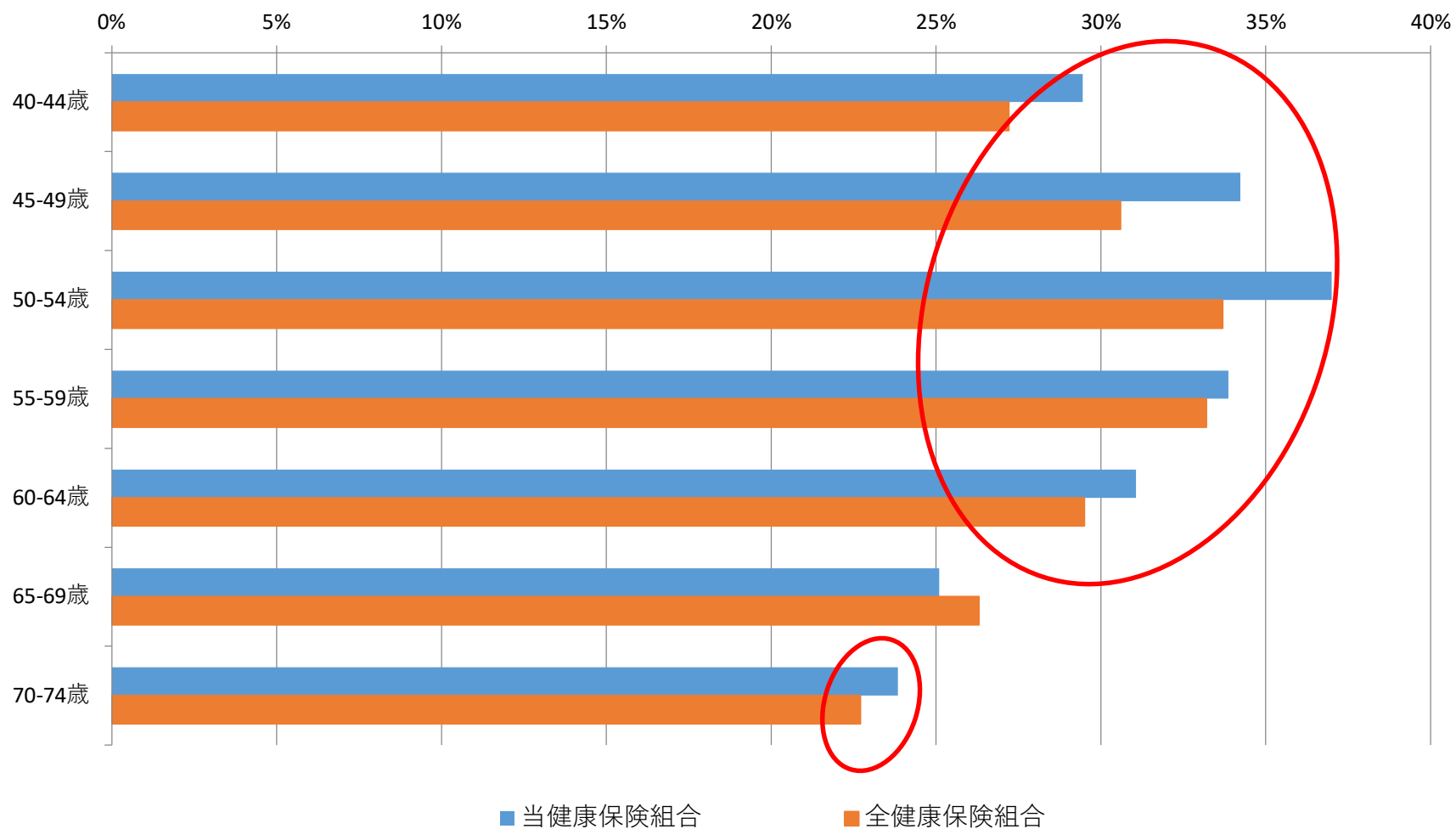
R 5 血糖値が受診勧奨基準以上の割合（被保険者・年代別）



全ての年代において、全健康保険組合の平均より高い。

No.18

R 5 脂質が受診勧奨基準以上の割合（被保険者・年代別）



「65-69歳」を除く全ての年代において、全健康保険組合の平均より高い。

No.19

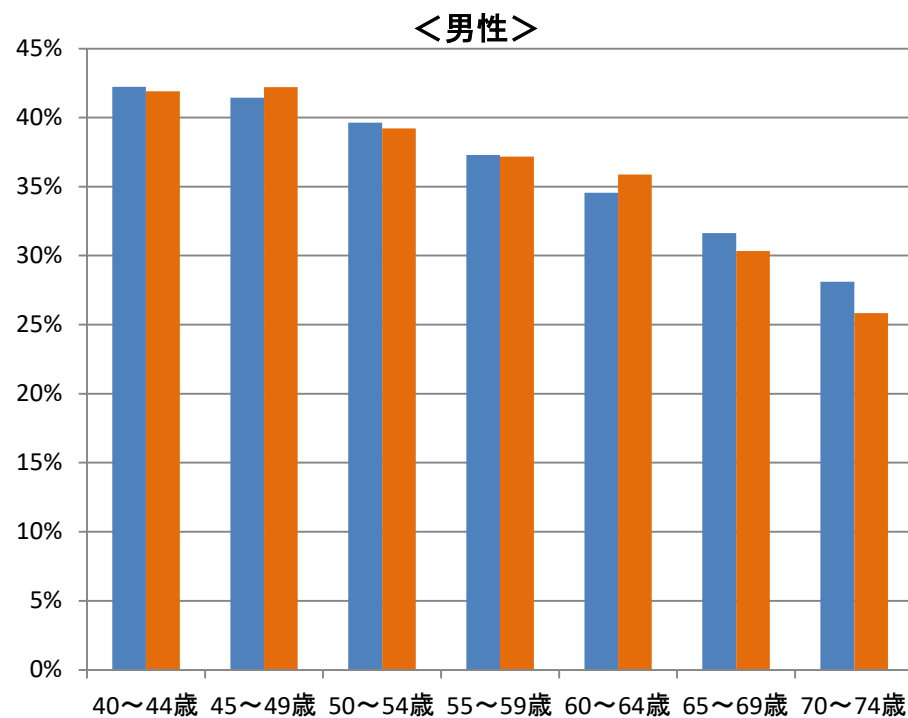
R5 後発医薬品の使用状況(被保険者及び被扶養者・年代別)



「20-24歳」、「25-29歳」、「30-34歳」、「65-69歳」の年代が、全健康保険組合の平均の使用率に比べて低い。

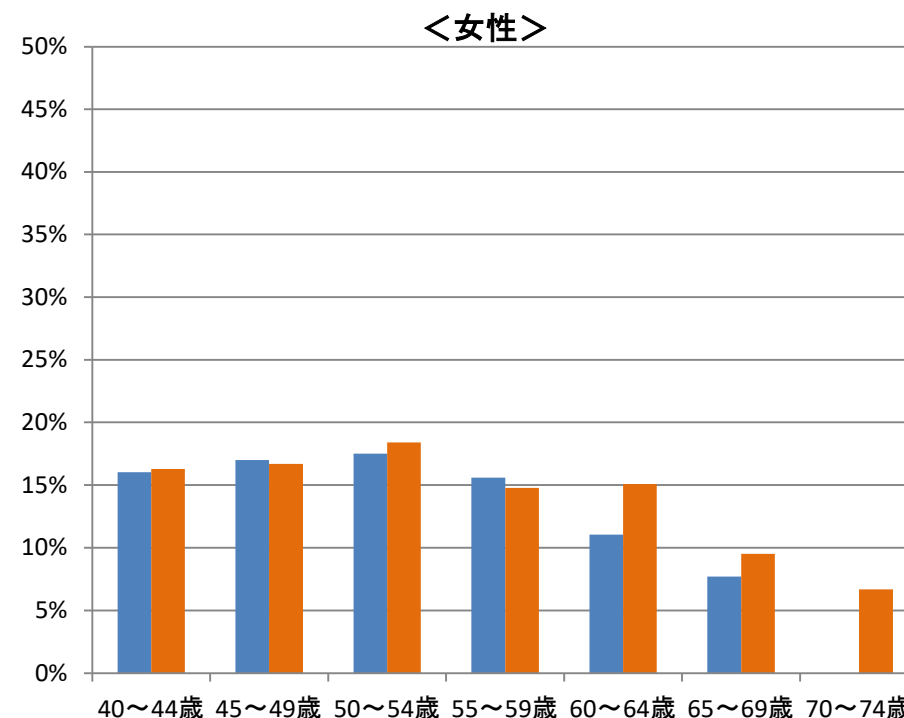
No.20

40歳以上男女喫煙率(被保険者・年代別)



■ 令和4年度 (全体39.1%)
 ■ 令和5年度 (全体39.0%)

【参考】全健康保険組合平均(令和5年度): 31.4%



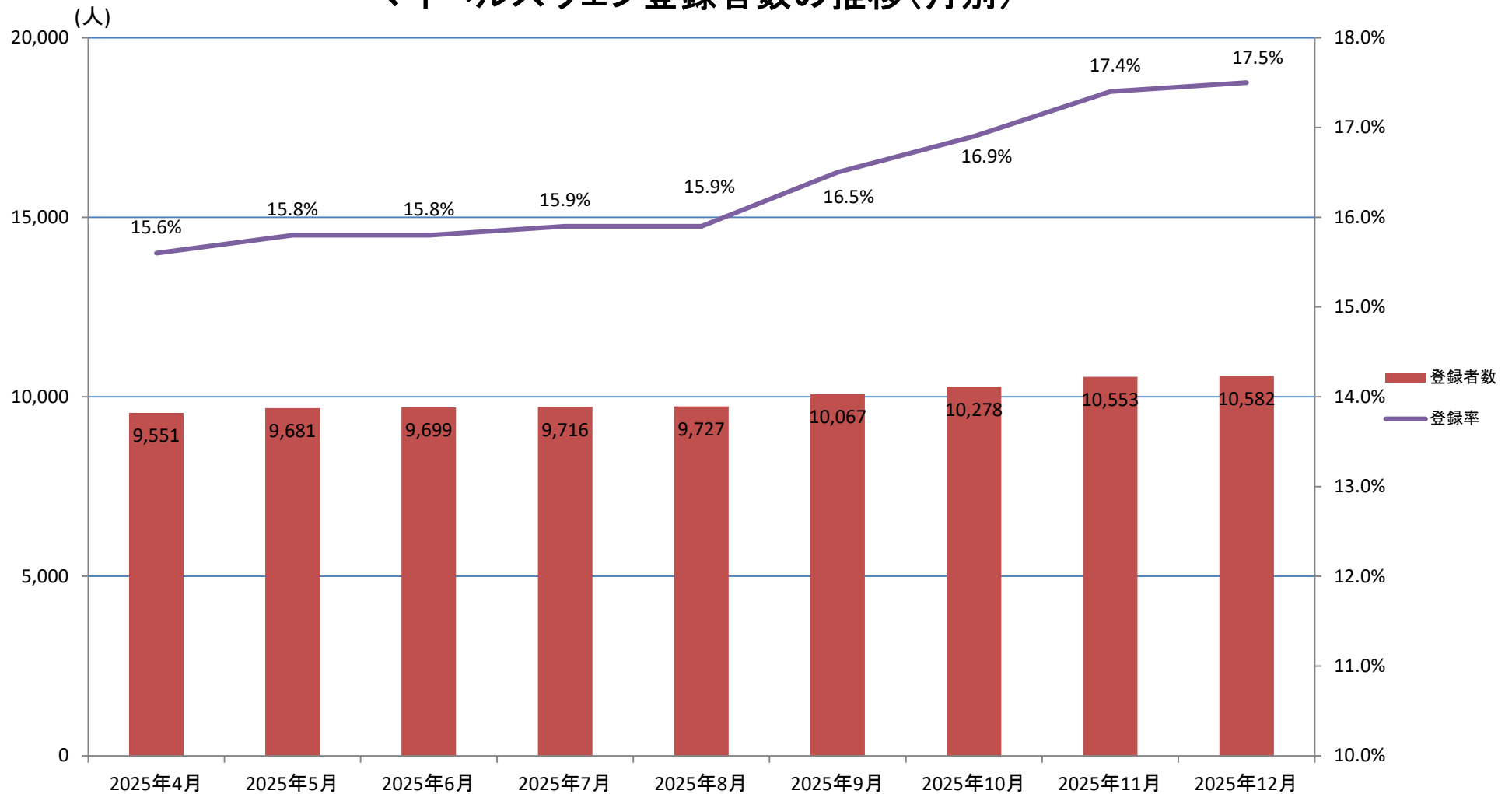
■ 令和4年度 (全体16.1%)
 ■ 令和5年度 (全体16.5%)

【参考】全健康保険組合平均(令和5年度): 10.0%

男女ともに全健康保険組合の平均に比べて高く、特に男性の喫煙率が高い。

No.21

マイヘルスウェブ登録者数の推移(月別)



毎月、登録者は着実に増加しているが、全体として大幅な増加には至っていない。

STEP 2 健康課題の抽出

基本情報

特徴		対策検討時に留意すべき点
加入者が多く、適用事業所（約300）の本社をはじめ、拠点は全国に約2,800カ所あり、加入者が点在している。	→	加入者が多いことから、当健康保険組合が加入者に個々に働きかけることは困難であり、事業主との協働（コラボヘルス）が重要。 加入者が全国に点在していることから、遠隔地の者にも等しく保健事業を受けられる環境整備が必要。
被保険者は男性が多く、40歳以上が全体の約65%を占めている。	→	加入者は、40歳代から50歳代前半が約40%を占め、構成に偏りがある。

保健事業の実施状況

特徴		対策検討時に留意すべき点
被保険者の特定健診受診率は伸びてはいるものの、被扶養者の受診率が低く、第4期特定健康診査等実施計画における目標受診率（令和8年度：82%）には及ばない状況である。	→	長期健診未受診者の実態把握と対応の検討。 低調である被扶養者の受診率の向上。 健保の事業外で受診している人の問診票及び健診結果の取得。
特定保健指導の実施者数は新型コロナウイルスの流行で減少したものの、その後はWEBによる保健指導を積極的に行い年々増加傾向にあったが、令和6年度は減少した。第4期特定健康診査等実施計画において目標とする実施率（令和8年度：24%）には及ばない状況である。	→	リピーターの抑制。 オンラインの活用。 事業主に対する実施協力の依頼。（コラボヘルスの強化）
マイヘルスウェブの登録率は、各種イベントの申請機能を追加したことで増加しているが、目標である登録率50%には及ばない状況である。	→	周知・広報の更なる強化。 ベンダーとの協働による利用促進。 利便性の向上。

STEP 2 健康課題の抽出

No.	対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき課題
1	医療費の状況（被保険者一人当たりの年間医療費）	被保険者一人当たりの年間医療費は、高齢化に伴い右肩上がりの傾向が続いており、今後の動向に注視する必要がある。	➔	本計画に基づく各種保健事業の効率的・効果的な実施。	✓
2	疾病大分類別一人当たり医療費（被保険者）	「歯科」、「循環器系疾患」、「新生物」、「消化器系疾患」、「内分泌・栄養・代謝疾患」の順に高く、中でも「循環器系疾患」の一人当たり医療費は、全健康保険組合の平均より高く突出している。	➔	重症化予防に係る保健指導の強化及び疾病予防対策の更なる推進。	
3	疾病大分類別一人当たり医療費（被保険者・男性）	「歯科」、「循環器系疾患」、「新生物」、「消化器系疾患」、「内分泌・栄養・代謝疾患」の順に高く、このうち特に「循環器系疾患」の一人当たり医療費が全健康保険組合の平均より高い。	➔	重症化予防に係る保健指導の強化及び疾病予防対策の更なる推進。	
4	疾病大分類別一人当たり医療費（被保険者・女性）	「歯科」、「新生物」、「腎尿路生殖器系疾患」、「呼吸器系疾患」、「内分泌・栄養・代謝疾患」の順に高く、このうち特に「歯科」、「新生物」の一人当たり医療費が全健康保険組合の平均より高い。	➔	重症化予防に係る保健指導の強化及び疾病予防対策の更なる推進。	
5	疾病大分類別（歯科）一人当たり医療費（被保険者）	男女ともに「歯肉炎・歯周疾患」が群を抜いて高い。	➔	歯肉炎・歯周疾患予防対策の実施。	
6	生活習慣病に関わる疾病の一人当たり医療費（被保険者）	「糖尿病」が特に高く、続いて「高血圧症」、「人工透析」、「高脂血症」、「虚血性心疾患」の順に高い。 また、「高血圧性腎臓障害」以外、一人当たりの医療費は、いずれも全健康保険組合の平均より高い。	➔	特定健診の受診率及び特定健康診査の実施率の向上。 循環器系疾患と糖尿病性腎症の重症化予防に係る保健指導の強化。	
7	特定健診の受診率の推移	受診率は令和2年度に新型コロナの影響で一時低下したものの、令和3年度以降、回復している。 受診勧奨をしているが被扶養者の受診率がなかなか上がらず、別の方法を検討する必要がある。	➔	各種健診の更なる推進。	✓
8	特定健診の受診率（被保険者）	各年代ともに被保険者の特定健診の受診率は全健康保険組合の平均より高い。	➔	各種健診の更なる推進。	✓
9	特定健診の受診率（被扶養者）	全年代とも全健康保険組合平均より低く、特に「40～44歳」、「45～49歳」、「50～54歳」は全健康保険組合の平均に比べてかなり低い。	➔	未受診者及び特定健診の入り口年齢（40歳）の者に対する受診勧奨の実施。	✓
10	特定保健指導の実施率の推移	オンライン指導を取り入れたことにより増加傾向にあったが、令和6年度は減少した。より効率的かつ効果的な進め方を検討する必要がある。	➔	I C Tを活用した保健指導の実施の検討。	✓
11	特定保健指導の実施率（被保険者）	全ての年代で全健康保険組合の平均よりも低く、実施率向上が今後の課題である。	➔	保健指導体制の強化、49歳以下の者に対する健康意識の更なる醸成及び事業主とのコラボの推進。	✓

No.	対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき課題
12	特定保健指導の実施率（被扶養者）	全ての年代において全健康保険組合の平均より低い。 実施方法等の実務上の課題が多く、報告ベースの実施数は2.6名とかなり少ない。	➔	I C Tを活用した保健指導の実施の検討。	✓
13	メタボ該当者の減少率（被保険者）	全健康保険組合の平均より改善率が比較的高いが、「45-49歳」、「70-74歳」の改善率が低い。	➔	対策の効果度合が高い49歳以下の者に対する特定保健指導の充実。	
14	特定保健指導対象者の減少率（被保険者）	全体的に改善率は低いが、対象者数が少ない「70-74歳」の年代のみ改善率がやや高い。	➔	事業所訪問による事業主とのコラボヘルスの強化及び特定保健指導による継続的な支援の実施。	
15	健康分布図（被保険者）	全健康保険組合の平均に比べて、肥満者の割合が5%以上高い。	➔	特定保健指導の強化。	
16	血圧値が受診勧奨基準値以上の割合（被保険者）	「45-49歳」、「50-54歳」、「55-59歳」、「70-74歳」の年代が、全健康保険組合の平均より高い。	➔	医療機関未通院者に対する受診勧奨の強化。	
17	血糖値が受診勧奨基準値以上の割合（被保険者）	全ての年代において、全健康保険組合の平均より高い。	➔	医療機関未通院者に対する受診勧奨の強化。	
18	脂質が受診勧奨基準値以上の割合（被保険者）	「65-69歳」を除く全ての年代において、全健康保険組合の平均より高い。	➔	医療機関未通院者に対する受診勧奨の強化。	
19	後発医薬品の使用状況（被保険者及び被扶養者）	「20-24歳」、「25-29歳」、「30-34歳」、「65-69歳」の年代が、全健康保険組合の平均の使用率に比べて低い。	➔	マイヘルスウェブの更なる利用促進及び広報による啓蒙。	
20	40歳以上男女別喫煙率（被保険者・年代別）	男女ともに全健康保険組合の平均に比べて高く、特に男性の喫煙率が高い。	➔	疾病予防事業としての禁煙サポートの強化。	✓
21	マイヘルスウェブ登録者数の推移（月別）	毎月、登録者は着実に増加しているが、全体として大幅な増加には至っていない。	➔	マイヘルスウェブの更なる利用促進及び広報による啓蒙。	✓

STEP 3 第3期データヘルス計画（保健事業）の実施計画

予算科目	新規・既存	事業名	事業の目的及び概要	対象者				実施計画 令和8年度	目標		予算額（千円）	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム		
職場環境の整備												
保健指導宣伝	既存	健康スコアリングレポート	【目的】 全事業所との情報（従業員等の健康状況及び健康課題等）の共有 【概要】 メール送信により情報提供を実施	全て	男女	40～74	加入者全員	厚生労働省から発行された組合全体版の健康スコアリングレポートを送付 また、40歳以上の被保険者が10人以上の事業所へは、個別の健康スコアリングレポートをメールにて送信	健康スコアリングレポート送達率：100%	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ●医療費の状況（被保険者一人当たりの年間医療費） 被保険者一人当たりの年間医療費は、高齢化に伴い右肩上がりの傾向が続いており、今後の動向に注視する必要がある。 ●特定健診の受診率の推移 受診率は令和2年度に新型コロナの影響で一時低下したものの、令和3年度以降、回復している。受診勧奨をしているが被扶養者の受診率がなかなか上がらず、別の方法を検討する必要がある。 ●特定保健指導の実施率の推移 オンライン指導を取り入れたことにより増加傾向にあったが、令和6年度は減少した。より効果的な進め方を検討する必要がある。
	新規	健康経営支援	【目的】 健康経営の推進 【概要】 支援希望事業所に対し具体的な健康経営施策を提案	全て	男女	18～74	加入者全員	健康経営業務に特化した健康経営推進事業室を新たに設置し、所属の健康経営アドバイザー及び産業保健師が事業主と協働し、健康課題を解消して、従業員の健康増進を図り、病気の予防と労働生産性の向上を目指す	健康企業宣言：新規2事業所	-	8,497	<ul style="list-style-type: none"> ●医療費の状況（被保険者一人当たりの年間医療費） 被保険者一人当たりの年間医療費は、高齢化に伴い右肩上がりの傾向が続いており、今後の動向に注視する必要がある。 ●メタボ該当者の減少率（被保険者） 全健康保険組合の平均より改善率が比較的高いが、「45～49歳」、「70～74歳」の改善率が低い。 ●健康分布図（被保険者） 全健康保険組合の平均に比べて、肥満者の割合が5%以上高い。
加入者への意識づけ												
保健指導宣伝	既存	機関誌発行	【目的】 情報発信、健康意識の醸成 【概要】 健康保険組合の運営、財政収支、保健事業、健康づくり、公告等の情報提供	全て	男女	0～74	加入者全員	「健保ニュース」を4、8、11、1月の年4回発行 (マイヘルスウェブ及び希望事業所へ紙媒体で提供)	発行回数：年間4回	-	6,720	該当なし (これまでの経緯等で実施する事業)
	既存	マイヘルスウェブ	【目的】 マイヘルスウェブの登録率の向上 【概要】 医療費及び後発医薬品差額のお知らせや健康情報等を個人向け健康ポータルサイトで提供	全て	男女	0～74	加入者全員	・ポイントプログラムの実施 ・貯めたポイントは景品の抽選参加時に使用 ・各種イベントの申請・申込機能を装備 ・機能アップ ・新規加入者への広報	利用勧奨率：100% (利用登録用パンフレットを配付)	マイヘルスウェブ登録率：20%	8,400	●マイヘルスウェブ登録者数の推移（月別） 毎月、登録者は着実に増加しているが、全体として大幅な増加には至っていない。
	既存	健康講座	【目的】 健康意識の醸成・健康教育 【概要】 ①4月に「新入社員健康講座」を実施 ②3月に「健康講座」を実施	全て	男女	18～74	加入者全員	①希望事業所の新入社員(被保険者)を対象に実施 ②健康保険委員等を対象に、外部講師により講演を実施	案内率：100%	-	750	<ul style="list-style-type: none"> ●医療費の状況（被保険者一人当たりの年間医療費） 被保険者一人当たりの年間医療費は、高齢化に伴い右肩上がりの傾向が続いており、今後の動向に注視する必要がある。 ●生活習慣病に関わる疾病の一人当たり医療費（被保険者） 「糖尿病」が特に高く、続いて「高血圧症」、「人工透析」、「高脂血症」、「虚血性心疾患」の順が高い。また、「高血圧性腎臓障害」以外、一人当たりの医療費は、いずれも全健康保険組合の平均より高い。

予算科目	新規・既存	事業名	事業の目的及び概要	対象者				実施計画 令和8年度	目標		予算額（千円）	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム		
保健指導宣伝	既存	育児指導図書 の配付	【目的】情報発信・子育て支援 【概要】「月刊赤ちゃんと」、季刊育児図書「ラスタス」の配付	全て	女性	16～74	基準該当者	出産育児一時金請求者に対し、希望する者に年間「月刊赤ちゃんと」を配付終了後、季刊育児図書の「ラスタス」を3か月ごとに4回配付	案内率：100%	-	1,444	該当なし (これまでの経緯等で実施する事業)
	新規	睡眠セルフチェック	【目的】被保険者の健康維持 【概要】健康リスク対象者の洗い出し	全て	男女	18～74	加入者全員	スマートフォンのアプリでアンケート形式の質問に回答し、リスク対象者を抽出。精密検査（脳波検査）が必要な方へ受診勧奨を行う	案内率：100%	-	1,100	該当なし (これまでの経緯等で実施する事業)
個別の事業												
特定健康診断事業	既存（法定）	特定健診（被保険者）	【目的】被保険者の健康維持及び受診率の向上 【概要】事業主が行う定期健康診断と併せて共同実施 また、健康診断の補助金事業も実施	全て	男女	40～74	加入者全員	各種健康診断及び補助金事業により実施 (長期未受診者の実態を把握し、受診率の向上に繋げる)	受診案内率：100% （「健康保険組合ガイドブック」及び「私たちの健康保険組合」の配布並びにホームページ及び機関誌による広報を実施）	受診率：94.0%	193,856	●特定健診の受診率の推移 受診率は令和2年度に新型コロナの影響で一時低下したものの、令和3年度以降、回復している。 受診勧奨をしているが被扶養者の受診率がなかなか上がらず、別の方法を検討する必要がある。 ●特定健診の受診率（被保険者） 各年代ともに被保険者の特定健診の受診率は全健康保険組合の平均より高い。
	既存（法定）	特定健診（被扶養者）	【目的】被扶養者の健康維持及び受診率の向上 【概要】各種健康診断及び補助金事業により実施	全て	男女	40～74	加入者全員	各種健康診断及び補助金事業により実施 (未受診者の実態を把握し、受診率の向上に繋げる)	受診勧奨率：100% (5月に、未受診（未申込）の被扶養者へ特定健診Eコースの受診勧奨文書（受診票を含む）を郵送） 健診結果取得件数：500件（パート先事業所や市区町村等で受診した被扶養者から健診結果の提供依頼を実施）	受診率：39.6%	32,460	●特定健診の受診率の推移 受診率は令和2年度に新型コロナの影響で一時低下したものの、令和3年度以降、回復している。 受診勧奨をしているが被扶養者の受診率がなかなか上がらず、別の方法を検討する必要がある。 ●特定健診の受診率（被扶養者） 全年代とも全健康保険組合平均より低く、特に「40-44歳」、「45-49歳」、「50-54歳」は全健康保険組合の平均に比べてかなり低い。
	既存	長期健診未受診者に対する受診勧奨	【目的】健診の受診率の向上 【概要】健診未受診者に対し、事業所を通じて受診勧奨等を実施	全て	男女	18～74	基準該当者	6月に、過去3年間健康診断の受診が確認できない被保険者をリストアップし、未受診理由の確認及び受診勧奨を実施	長期健診未受診者に対する受診勧奨率：100%	勧奨後の受診率：20%	-	●医療費の状況（被保険者一人当たりの年間医療費） 被保険者一人当たりの年間医療費は、高齢化に伴い右肩上がりの傾向が続いており、今後の動向に注視する必要がある。 ●特定健診の受診率（被保険者） 各年代ともに被保険者の特定健診の受診率は全健康保険組合の平均より高い。

予算科目	新規・既存	事業名	事業の目的及び概要	対象者				実施計画	目標		予算額（千円）	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者	令和8年度	アウトプット	アウトカム		
特定保健指導事業	既存（法定）	特定保健指導	【目的】 生活習慣病リスク保有者の生活習慣・健康状態の改善及び実施率の向上 【概要】 特定健診の結果を階層化の上、保健指導対象者を抽出し実施	全て	男女	40～74	基準該当者	次年度の保健指導対象者でなくなる可能性の高い「動機付け支援対象者」を中心に指導を重点的に実施するとともに、引き続き初回面接の分割実施の取組みを実施 オンラインを活用した特定保健指導の実施	オンラインでの保健指導を実施回数：500回 （事業主の協力のもと、TV電話システム等を活用した特定保健指導を実施）	実施率：22.0%	15,441	<ul style="list-style-type: none"> ●医療費の状況（被保険者一人当たりの年間医療費） 被保険者一人当たりの年間医療費は、高齢化に伴い右肩上がりの傾向が続いており、今後の動向に注視する必要がある。 ●特定保健指導の実施率の推移 オンライン指導を取り入れたことにより増加傾向にあったが、令和6年度は減少した。より効果的な進め方を検討する必要がある。 ●特定保健指導の実施率（被保険者） 全ての年代で全健康保険組合の平均よりも低く、実施率向上が今後の課題である。 ●特定保健指導の実施率（被扶養者） 全ての年代において全健康保険組合の平均より低い。実施方法等の実務上の課題が多く、報告ベースの実施数は26名とかなり少ない。 ●メタボ該当者の減少率（被保険者） 全健康保険組合の平均より改善率が比較的高いが、「45～49歳」、「70～74歳」の改善率が低い。 ●健康分布図（被保険者） 全健康保険組合の平均に比べて、肥満者の割合が5%以上高い。 ●特定保健指導対象者の減少率（被保険者） 全体的に改善率は低い、対象者数が少ない「70～74歳」の年代のみ改善率がやや高い。
	既存	要治療者への受診勧奨	【目的】 重症化の予防 【概要】 要治療判定を受けた者に対し、文書による受診勧奨を実施	全て	男女	18～74	基準該当者	都内隣接県総合巡回健診で要治療判定者に対し、結果表を送る際に受診勧奨の通知を同封 また、緊急データに該当する者には文書または電話にて受診勧奨を行う	受診勧奨率：100%	勧奨後の受診率：30%	-	<ul style="list-style-type: none"> ●医療費の状況（被保険者一人当たりの年間医療費） 被保険者一人当たりの年間医療費は、高齢化に伴い右肩上がりの傾向が続いており、今後の動向に注視する必要がある。 ●血圧値が受診勧奨基準値以上の割合（被保険者） 「45～49歳」、「50～54歳」、「55～59歳」、「70～74歳」の年代が、全健康保険組合の平均より高い。 ●血糖値が受診勧奨基準値以上の割合（被保険者） 全ての年代において、全健康保険組合の平均より高い。 ●脂質が受診勧奨基準値以上の割合（被保険者） 「65～69歳」を除く全ての年代において、全健康保険組合の平均より高い。
	保健指導宣伝	既存	医療費通知	【目的】 健康と医療費コストに対する意識の醸成及び受診内容の確認による医療費の適正化 【概要】 マイヘルスウェブにより情報提供	全て	男女	0～74	加入者全員	マイヘルスウェブに、毎月、情報をアップデートするとともに、情報更新をメールにて通知 閲覧者に月1回ポイントを付与	メールによる情報更新の通知率：100% （マイヘルスウェブ登録者のうち、医療費情報の更新があった者へメールにより通知） ポイント付与率：100% （マイヘルスウェブ登録者のうち、医療費情報を読んだ者（情報更新の有無を問わず）に毎月ポイントを付与）	-	-

予算科目	新規・既存	事業名	事業の目的及び概要	対象者				実施計画		目標		予算額（千円）	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者	令和8年度	アウトプット	アウトカム			
保健指導宣伝	既存	後発医薬品差額通知	【目的】 後発医薬品の使用促進及び調剤医療費の適正化 【概要】 マイヘルスウェブにより情報提供	全て	男女	0～74	加入者全員	マイヘルスウェブに、毎月、情報をアップデートするとともに、情報更新をメールにて通知 閲覧者に月1回ポイントを付与	メールによる情報更新の通知率：100% （マイヘルスウェブ登録者のうち、後発医薬品情報の更新があった者へメールにより通知） ポイント付与率：100% （マイヘルスウェブ登録者のうち、後発医薬品情報を読んだ者（情報更新者のみ）に毎月ポイントを付与）	調剤医療費に占める後発医薬品の割合：80%	-	●後発医薬品の使用状況（被保険者及び被扶養者） 「20～24歳」、「25～29歳」、「30～34歳」、「65～69歳」の年代が、全健康保険組合の平均の使用率に比べて低い。 ●医療費の状況（被保険者一人当たりの年間医療費） 被保険者一人当たりの年間医療費は、高齢化に伴い右肩上がりの傾向が続いており、今後の動向に注視する必要がある。 ●マイヘルスウェブ登録者数の推移（月別） 毎月、登録者は着実に増加しているが、全体として大幅な増加には至っていない。	
	既存	OTC医薬品活用促進	【目的】 医療費の適正化 【概要】 受診歴に対応するスイッチOTC医薬品等の活用を勧奨	全て	男女	18～74	基準該当者	18歳以上の加入者のうち、花粉症等の受診歴のある者に対し、スイッチOTC医薬品等の活用勧奨を実施	活用勧奨率：100% （勧奨パンフレット（購入案内を含む）を対象者へ郵送）	-	825	●医療費の状況（被保険者一人当たりの年間医療費） 被保険者一人当たりの年間医療費は、高齢化に伴い右肩上がりの傾向が続いており、今後の動向に注視する必要がある。	
疾病予防	既存	都内隣接県地区総合巡回健康診断	【目的】 疾病の早期発見・早期治療 【概要】 都内及び隣接県（3県）地区の事業所に勤務する被保険者を対象に巡回健康診断による健診を委託により実施	全て	男女	18～74	加入者全員	4～11月に実施 （34歳以下） 5,800人 （35歳以上） 12,500人 実施前に実施要領を事務担当者に説明し協力を依頼	受診案内率：100% （「健康保険組合ガイドブック」及び「私たちの健康保険組合」の配布並びにホームページ及び機関誌による広報を実施） 未受診者健診の設定：8日	-	138,390	●医療費の状況（被保険者一人当たりの年間医療費） 被保険者一人当たりの年間医療費は、高齢化に伴い右肩上がりの傾向が続いており、今後の動向に注視する必要がある。	
	既存	遠隔地指定地区健康診断	【目的】 疾病の早期発見・早期治療 【概要】 全国12地区の事業所に勤務する被保険者を対象に契約健康診断機で実施	全て	男女	18～74	加入者全員	4～11月に実施 （34歳以下） 3,500人 （35歳以上） 8,100人 実施前に実施要領を事務担当者に説明し協力を依頼	受診案内率：100% （「健康保険組合ガイドブック」及び「私たちの健康保険組合」の配布並びにホームページ及び機関誌による広報を実施）	-	127,320	●医療費の状況（被保険者一人当たりの年間医療費） 被保険者一人当たりの年間医療費は、高齢化に伴い右肩上がりの傾向が続いており、今後の動向に注視する必要がある。	
	新規	東振協健康診断	【目的】 疾病の早期発見・早期治療 【概要】 都内隣接県・遠隔地指定地区以外の事業所に勤務する被保険者を対象に東振協への委託により実施	全て	男女	18～74	加入者全員	4～11月に実施 （34歳以下） 2,000人 （35歳以上） 2,250人 実施前に実施要領を事務担当者に説明し協力を依頼	受診案内率：100% （「健康保険組合ガイドブック」及び「私たちの健康保険組合」の配布並びにホームページ及び機関誌による広報を実施）	-	42,270		

予算科目	新規・既存	事業名	事業の目的及び概要	対象者			実施計画	目標		予算額（千円）	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢		対象者	令和8年度			アウトプット
疾病予防	既存	女性生活習慣病予防健診	【目的】 婦人科疾患の早期発見・早期治療 【概要】 40歳以上の女性被保険者及び被扶養者を対象に東振協への委託により実施	全て	女性	40～74	加入者全員	春季、秋季ともに女性被保険者及び被扶養者を対象に実施 (春季4～8月) 1,500人 (秋季10～2月) 3,500人 実施前に実施要領を事務担当者に説明し協力を依頼	受診案内率：100% (「健康保険組合ガイドブック」及び「私たちの健康保険組合」の配布並びにホームページ及び機関誌による広報を実施)	-	61,000	●医療費の状況（被保険者一人当たりの年間医療費） 被保険者一人当たりの年間医療費は、高齢化に伴い右肩上がりの傾向が続いており、今後の動向に注視する必要がある。
	既存	健康診断補助金	【目的】 疾病の早期発見・早期治療 【概要】 都内隣接県地区及び遠隔地指定地区以外の事業所に勤務する被保険者の健診費用を補助	全て	男女	18～74	加入者全員	4～12月に実施 (34歳以下) 1,500人 (35歳以上) 2,250人	受診案内率：100% (「健康保険組合ガイドブック」及び「私たちの健康保険組合」の配布並びにホームページ及び機関誌による広報を実施)	-	19,260	●医療費の状況（被保険者一人当たりの年間医療費） 被保険者一人当たりの年間医療費は、高齢化に伴い右肩上がりの傾向が続いており、今後の動向に注視する必要がある。
	既存	家族健康診断補助金	【目的】 疾病の早期発見・早期治療 【概要】 39歳以下の被扶養者の健診費用を補助	全て	男女	18～39	加入者全員	4～1月に実施 100人	受診案内率：100% (「健康保険組合ガイドブック」及び「私たちの健康保険組合」の配布並びにホームページ及び機関誌による広報を実施)	-	1,000	●医療費の状況（被保険者一人当たりの年間医療費） 被保険者一人当たりの年間医療費は、高齢化に伴い右肩上がりの傾向が続いており、今後の動向に注視する必要がある。
	既存	乳がん・子宮がん検診補助金	【目的】 乳がん・子宮がんの早期発見・早期治療 【概要】 39歳以下の女性被保険者の乳がん・子宮がん健診費用を補助	全て	女性	18～39	加入者全員	4～1月に実施 (乳がん検診) 50人 (子宮がん検診) 50人	受診案内率：100% (「健康保険組合ガイドブック」及び「私たちの健康保険組合」の配布並びにホームページ及び機関誌による広報を実施)	-	200	●医療費の状況（被保険者一人当たりの年間医療費） 被保険者一人当たりの年間医療費は、高齢化に伴い右肩上がりの傾向が続いており、今後の動向に注視する必要がある。
	既存	契約医療機関人間ドック補助金	【目的】 疾病の早期発見・早期治療 【概要】 35歳以上の被保険者及び被扶養配偶者の人間ドック費用を補助	全て	男女	35～74	加入者全員	4～1月に実施 (被保険者) 14,400人 (被扶養配偶者) 1,000人	受診案内率：100% (「健康保険組合ガイドブック」及び「私たちの健康保険組合」の配布並びにホームページ及び機関誌による広報を実施)	-	324,000	●医療費の状況（被保険者一人当たりの年間医療費） 被保険者一人当たりの年間医療費は、高齢化に伴い右肩上がりの傾向が続いており、今後の動向に注視する必要がある。

予算科目	新規・既存	事業名	事業の目的及び概要	対象者				実施計画		目標		予算額（千円）	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者	令和8年度	アウトプット	アウトカム			
疾病予防	既存	脳ドック補助金	【目的】 脳血管疾病の早期発見・早期治療 【概要】 45、50歳及び55歳以上の被保険者の脳ドック費用を補助	全て	男女	45～74	基準該当者	4～1月に実施 300人	受診案内率：100% （「健康保険組合ガイドブック」及び「私たちの健康保険組合」の配布並びにホームページ及び機関誌による広報を実施）	-	3,000	●医療費の状況（被保険者一人当たりの年間医療費） 被保険者一人当たりの年間医療費は、高齢化に伴い右肩上がりの傾向が続いており、今後の動向に注視する必要がある。	
	既存	インフルエンザ予防接種補助金	【目的】 インフルエンザの罹病予防 【概要】 64歳以下の被保険者及び被扶養者のインフルエンザ予防接種費用を補助	全て	男女	0～64	加入者全員	10～12月 一括申請・マイヘルスウェブ 12,000人 東振協 10,000人	接種案内率：100% （「健康保険組合ガイドブック」及び「私たちの健康保険組合」の配布並びにホームページ及び機関誌による広報を実施）	-	22,550	●疾病大分類別一人当たり医療費（被保険者） 「歯科」、「循環器系疾患」、「新生物」、「消化器系疾患」、「内分泌・栄養・代謝疾患」の順に高く、その中でも「循環器系疾患」の一人当たり医療費は、全健康保険組合の平均より高く突出している。 ●疾病大分類別一人当たり医療費（被保険者・男性） 「歯科」、「循環器系疾患」、「新生物」、「消化器系疾患」、「内分泌・栄養・代謝疾患」の順に高く、このうち特に「循環器系疾患」の一人当たり医療費が全健康保険組合の平均より高い。 ●疾病大分類別一人当たり医療費（被保険者・女性） 「歯科」、「新生物」、「腎尿路生殖器系疾患」、「呼吸器系疾患」、「内分泌・栄養・代謝疾患」の順に高く、このうち特に「歯科」、「新生物」の一人当たり医療費が全健康保険組合の平均より高い。	
	既存	重症化予防保健指導	【目的】 重症化の予防 【概要】 当健康保険組合の糖尿病療養指導士又は管理栄養士により重症化予防に着眼した保健指導を実施	全て	男女	40～74	基準該当者	4～3月に実施 受診勧奨及び保健指導を実施	勧奨率：100% （対象者全員に対し、医療機関に受診及び重症化予防指導を受けるよう電話又は文書により勧奨）	勧奨後の受診又は指導実施率：10%	-	●医療費の状況（被保険者一人当たりの年間医療費） 被保険者一人当たりの年間医療費は、高齢化に伴い右肩上がりの傾向が続いており、今後の動向に注視する必要がある。 ●生活習慣病に関わる疾病の一人当たり医療費（被保険者） 「糖尿病」が特に高く、続いて「高血圧症」、「人工透析」、「高脂血症」、「虚血性心疾患」の順に高い。また、「高血圧性腎臓障害」以外、一人当たりの医療費は、いずれも全健康保険組合の平均より高い。 ●血圧値が受診勧奨基準値以上の割合（被保険者） 「45～49歳」、「50～54歳」、「55～59歳」、「70～74歳」の年代が、全健康保険組合の平均より高い。 ●血糖値が受診勧奨基準値以上の割合（被保険者） 全ての年代において、全健康保険組合の平均より高い。 ●脂質が受診勧奨基準値以上の割合（被保険者） 「65～69歳」を除く全ての年代において、全健康保険組合の平均より高い。	
	既存	メンタルヘルズ事業	【目的】 心の健康づくり 【概要】 電話・WEBによるカウンセリングを東振協に委託し実施 厚生労働省HPのサイトを併せて広報する	全て	男女	18～74	加入者全員	4～3月に実施	利用案内率：100% （「健康保険組合ガイドブック」及び「私たちの健康保険組合」の配布並びにホームページ及び機関誌による広報を実施）	-	1,680	●医療費の状況（被保険者一人当たりの年間医療費） 被保険者一人当たりの年間医療費は、高齢化に伴い右肩上がりの傾向が続いており、今後の動向に注視する必要がある。	
	体育奨励	既存	潮干狩り	【目的】 健康の保持・増進 【概要】 千葉県木更津市及び大阪府貝塚市で開催	全て	男女	0～74	加入者全員	期間を4月～7月に設定し、事前に利用券を配付して開催 1,500人	案内率：100% （ホームページに掲載するとともに、全事業所へメール又は文書送付により案内）	-	2,900	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）

予算科目	新規・既存	事業名	事業の目的及び概要	対象者				実施計画		目標		予算額（千円）	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者	令和8年度	アウトプット	アウトカム			
体育奨励	既存	軟式野球大会	【目的】 健康の保持・増進 【概要】 被保険者を対象にグラウンドを借上げ開催	全て	男女	18～74	加入者全員	5月（予定）に開催 トーナメント制で実施し、優勝チームは東振協主催の大会に出場 16チーム（1チーム最大20人）	案内率：100% （ホームページに掲載するとともに、全事業所へメール又は文書送付により案内）	-	1,340	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
	既存	フットサル大会	【目的】 健康の保持・増進 【概要】 被保険者を対象にフットサルコートを借上げ2日間開催	全て	男女	18～74	加入者全員	11月に2日間開催 18チーム（1チーム最大12人）	案内率：100% （ホームページに掲載するとともに、全事業所へメール又は文書送付により案内）	-	1,125	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
	既存	ソフトボール大会	【目的】 健康の保持・増進 【概要】 グラウンドを借上げ開催	全て	男女	12～74	加入者全員	9～10月（予定）に2日間開催 16チーム（1チーム最大12人）	案内率：100% （ホームページに掲載するとともに、全事業所へメール又は文書送付により案内）	-	990	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
	既存	ハイキング	【目的】 健康の保持・増進 【概要】 愛知、神奈川、大阪で開催	全て	男女	0～74	加入者全員	期間を設定し、事前に利用券を配付して開催 7月～10月 ぶどう狩り（愛知） 500人 10月～11月 みかん狩り（神奈川） 1,200人 10月～12月 みかん狩り（大阪） 300人	案内率：100% （ホームページに掲載するとともに、全事業所へメール又は文書送付により案内）	-	3,296	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
	既存	ウォークラリー	【目的】 健康の保持・増進 【概要】 被保険者を対象にマイヘルスウェブを利用してWeb上で開催	全て	男女	18～74	加入者全員	5月～6月及び10月～11月に2回実施 参加者のうち、抽選でデズニー割引チケット等を配付	案内率：100% （ホームページに掲載するとともに、全事業所へメール又は文書送付により案内）	-	1,984	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
	既存	ロングランボウリング大会	【目的】 健康の保持・増進 【概要】 期間を設定して全国のボウリング場で開催	全て	男女	6～74	加入者全員	期間を設定し、事前に利用券を配付して開催 9月～10月に開催 600人	案内率：100% （ホームページに掲載するとともに、全事業所へメール又は文書送付により案内）	-	1,300	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
	直営保養所	既存	箱根仙石荘	【目的】 加入者の健康増進やリフレッシュ 【概要】 加入者の保養や加入事業所の研修等に使用	全て	男女	0～74	加入者全員	・通年ただし、原則水曜日と木曜日は休館 ・平日の利用促進	案内率：100% （ホームページ及び機関誌に掲載し案内）	-	122,304	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）

予算科目	新規・既存	事業名	事業の目的及び概要	対象者				実施計画	目標		予算額（千円）	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者	令和8年度	アウトプット	アウトカム		
契約保養所	既存	契約保養所	【目的】 健康の保持・増進 【概要】 契約保養所の宿泊時に利用料金の補助	全て	男女	0 ~ 74	加入者全員	被保険者 1泊3,000円 被扶養者 1泊2,000円の補助金を年間5泊を限度に支給 (被保険者) 1,000人 (被扶養者) 1,000人	案内率：100% (ホームページ及び機関誌に掲載し案内)	-	5,000	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	既存	契約保養所 (ハワイ)	【目的】 健康の保持・増進 【概要】 海外のコンドミニアムと契約	全て	男女	0 ~ 74	加入者全員	ハワイのコンドミニアム（イリカイ）と契約（契約泊数）年間240泊（利用料金） 組合員 6,000円 その他 8,400円 ※（小学生以上） 1人1泊の料金／最大7泊まで	案内率：100% (ホームページ及び機関誌に掲載し案内)	-	4,324	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
(予算措置なし)	既存	家庭用常備薬の斡旋	【目的】 医療費の節減 【概要】 風邪等季節的疾患罹患時の対応や歯周病の予防等のため、割安な特納品等を斡旋	全て	男女	0 ~ 74	加入者全員	6月と2月に実施	案内率：100% (全事業所へ斡旋の案内をメール又は文書で案内)	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ●医療費の状況（被保険者一人当たりの年間医療費） 被保険者一人当たりの年間医療費は、高齢化に伴い右肩上がりの傾向が続いており、今後の動向に注視する必要がある。 ●疾病大分類（歯科）一人当たり医療費（被保険者） 男女ともに「歯肉炎・歯周疾患」が群を抜いて高い。